

千葉市バリアフリーマスターplan

(地区別方針案)

令和2年7月

千葉市

地区別のバリアフリー方針

各移動等円滑化促進地区のバリアフリー化促進にあたっては、バリアフリー化促進の考え方を基本に、地区の特徴や課題を踏まえて取組みを進めることができます。

移動等円滑化促進地区について、具体的な位置及び区域、生活関連施設及び生活関連経路を次頁以降に示します。あわせて、地区の特徴や課題を踏まえた各地区のバリアフリー方針を示します。

促進地区名	立地適正化計画の位置づけ	該当ページ
1. JR/京成幕張本郷地区	地域拠点	2~3
2. JR/京成幕張地区	重要地域拠点	4~5
3. JR 新検見川地区	地域拠点	6~7
4. JR/京成稻毛地区	重要地域拠点	8~9
5. JR 西千葉、京成みどり台地区	地域拠点	10~11
6. 千葉都心地区	都心	12~15
7. JR 蘆我地区	都心	16~18
8. JR 浜野地区	地域拠点	19~20
9. JR 鎌取地区	重要地域拠点	21~22
10. JR 誉田地区	地域拠点	23~24
11. JR 土気地区	地域拠点	25~26
12. JR/モノレール都賀地区	重要地域拠点	27~28
13. JR 検見川浜地区	地域拠点	29~30
14. JR 稲毛海岸地区	地域拠点	31~32
15. モノレールスポーツセンター地区	連携地域拠点	33~34
16. モノレール千城台地区	地域拠点	35~36
17. JR 海浜幕張地区	都心	37~39
18. 市立青葉病院周辺地区	—	40~41
19. 大宮台団地地区	連携地域拠点	42~43
20. こてはし台団地地区	連携地域拠点	44~45
21. さつきが丘団地地区	連携地域拠点	46~47
22. 花見川団地地区	連携地域拠点	48~49

1 JR/京成幕張本郷地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	37.3ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 幕張本郷駅	59,592人（平成30年度）
	京成幕張本郷駅	16,608人（平成30年度）
バス便数	幕張本郷駅	513（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	7施設	
生活関連経路延長	約1,540m	
500m圏人口	9,296人	※JR 幕張本郷駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,182人	
500m圏高齢化率	13%	
従前の基本構想から の主な変更点	・駅南口側は都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・駅北口側は千葉幕張本郷郵便局を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

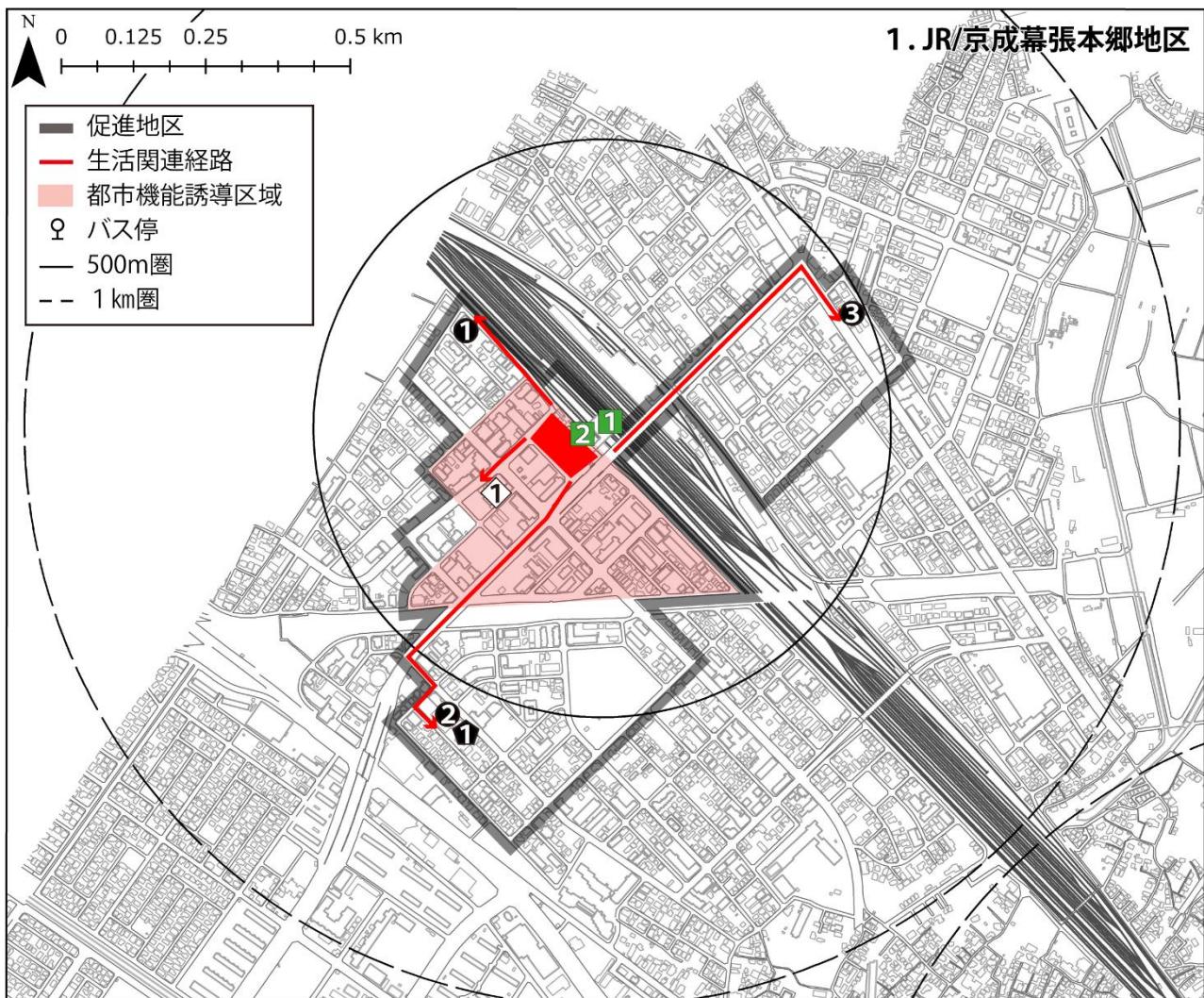
JR/京成幕張本郷地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、南西側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 幕張本郷駅は乗降客数が多い駅です。バス便数も多く、特に海浜幕張・イオンモール方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、一部視覚障害者誘導用ブロックの規格が古い箇所があるほか、生活関連施設への案内誘導や出入口の移動の連続性が十分ではない状況が見受けられ、経路・施設間の一体的なバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	記号	施設名称
旅客施設	1	JR 幕張本郷駅
	2	京成幕張本郷駅
公共施設	1	幕張年金事務所
	2	幕張本郷市民センター ※1
	3	千葉幕張本郷郵便局
集会施設	1	幕張本郷公民館 ※1
宿泊施設	1	メイプルイン幕張

※は同一建物内



JR 幕張本郷駅



幕張本郷駅前バス停

2 JR/京成幕張地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	88.1ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 幕張駅	32,176人（平成30年度）
	京成幕張駅	8,373人（平成30年度）
バス便数	JR 幕張駅	126（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	京成幕張駅	34（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	8施設	
生活関連経路延長	約4,540m	
500m圏人口	8,105人	※JR 幕張駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッセ)
500m圏高齢者数	1,975人	
500m圏高齢化率	24%	
従前の基本構想から の主な変更点	隣接するJR 海浜幕張地区、JR 新検見川地区と重複しないよう に地区境界を精査	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR/京成幕張地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅で、都市機能誘導区域が設定されている駅北側では東幕張土地区画整理事業が事業中であり、駅前広場の新設が予定されています。

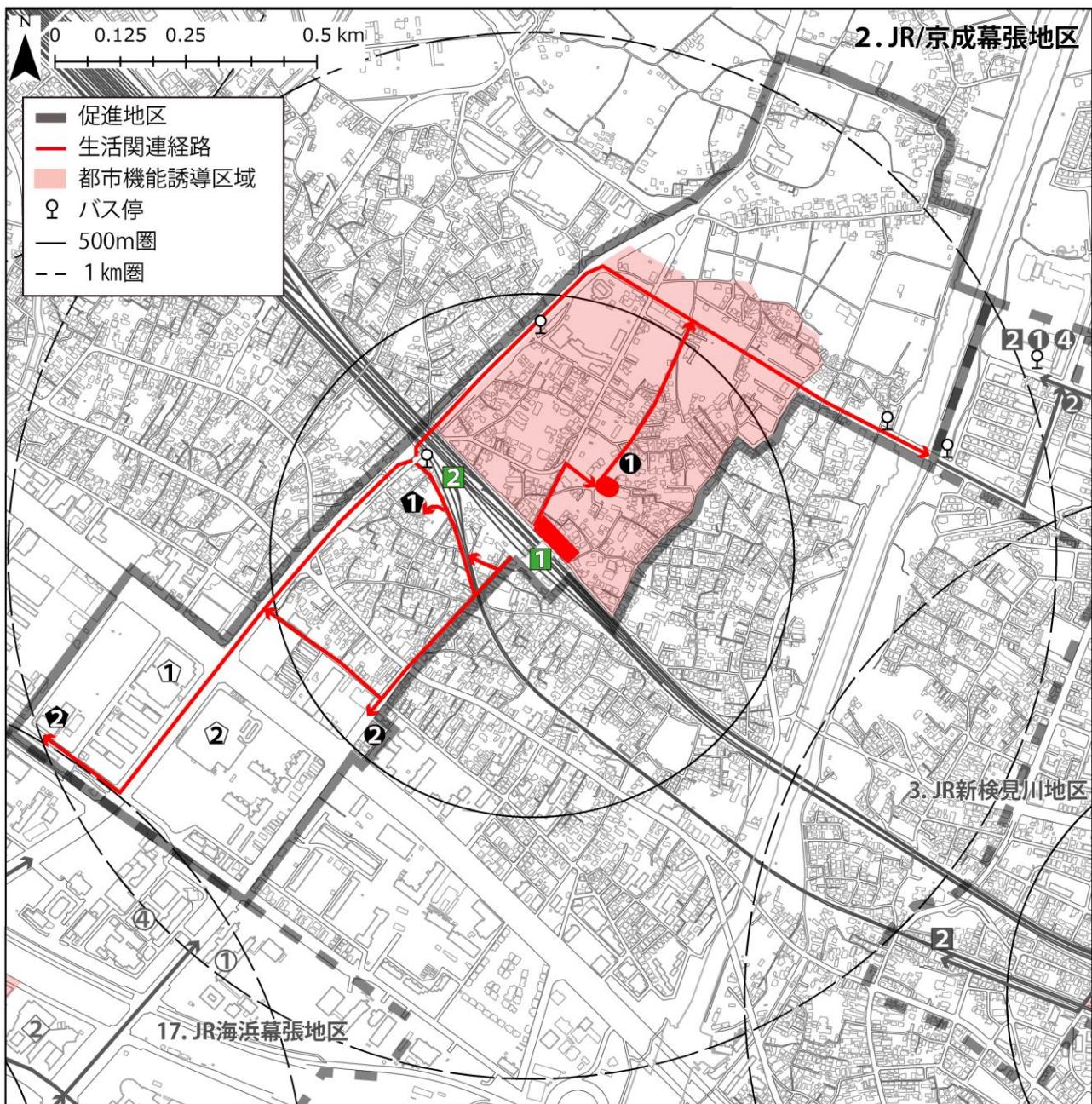
JR 幕張駅は、乗降客数が平均的な駅です。北口では土地区画整理事業の一環として暫定バスロータリーが整備され、バス便数は少ないですが、海浜幕張駅・幕張メッセ方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、線路の南北間や鉄道駅間のわかりやすい誘導案内や駅北口側の駅前広場整備による利用環境・安全性の向上が課題となっています。コミュニティセンター前の歩道については狭いうえに電柱があり車いでの通行が難しい、幕張駅前の地下道については暗いため利用しにくいとの利用者の声があります。

また、JR 新検見川駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへの連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。



種別	記号	施設名称
旅客施設	1	JR 幕張駅
	2	京成幕張駅
公共施設	1	幕張北口郵便局
	2	幕張郵便局
集会施設	1	幕張公民館
	2	幕張コミュニティセンター
大規模	1	Makuhari-i-BOX CHIBA NISSAN
店舗	2	イトーヨーカドー幕張店



JR 幕張駅



京成幕張駅

3 JR 新検見川地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	79.8ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 新検見川駅	46,092人（平成30年度）
	京成検見川駅	4,043人（平成30年度）
バス便数	新検見川駅南口	353（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	新検見川駅	280（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	10施設	
生活関連経路延長	約3,230m	
500m圏人口	8,699人	※JR新検見川駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,859人	
500m圏高齢化率	21%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・京成検見川駅を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

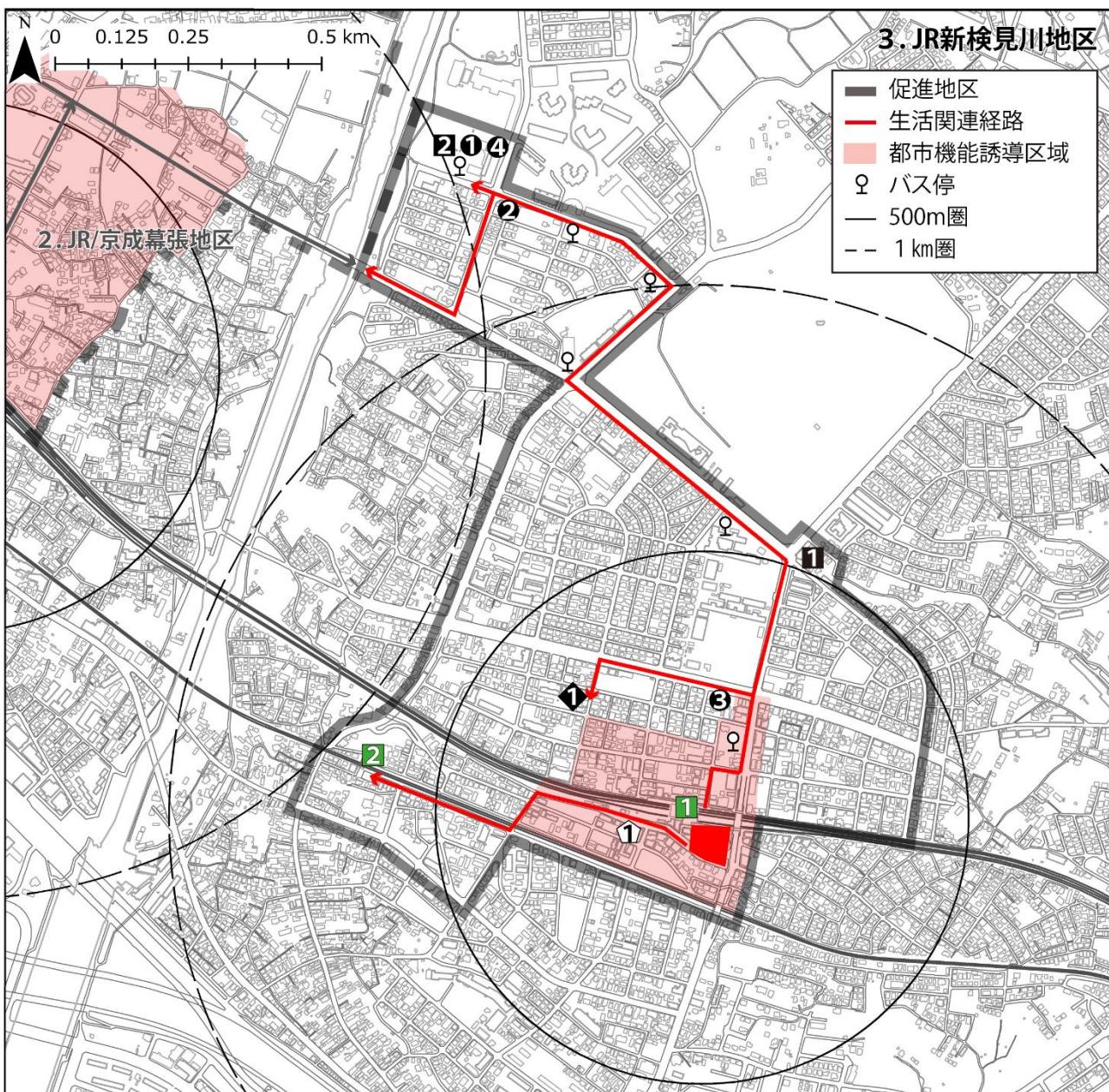
JR新検見川地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、大規模店舗が立地しています。また、駅から1km以上離れた場所に、花見川区役所など公共施設が集積しています。駅周辺の主要な土地利用は住宅であり、駅周辺に都市機能誘導区域が設定されています。

JR新検見川駅は、乗降客数が比較的多い駅です。バス便数も多く、北口側はさつきが丘団地、西小中台団地、花見川区役所方面へ、南口側からは検見川浜駅方面へのアクセスが充実しています。駅北口からバスロータリーまでは200m程離れており分かりにくいうえに、自動車と歩行者が錯綜しているとの声があり、案内の充実及び安全の確保が求められます。また、駅構内の一般トイレ入口には階段があることから、バリアフリー化が求められています。

京成検見川駅周辺は歩道のない道路が多く、安全な移動への配慮が必要です。また、JR幕張駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへの連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	記号	施設名称
旅客施設	1	JR 新検見川駅
	2	京成検見川駅
公共施設	1	花見川区役所 ※1
	2	花見川区役所前郵便
	3	千葉花園郵便局
	4	花見川市税出張所 ※1
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター花園
保健施設・病院	1	朝日ヶ丘医院
	2	花見川保健福祉センター
大規模店舗	1	西友新検見川店

※は同一建物内



JR 新検見川駅駅前広場



京成検見川駅

4 JR/京成稻毛地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点		
面積（促進地区）	185.0ha		
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 稲毛駅	101,356人（平成30年度）	
	京成稻毛駅	7,064人（平成30年度）	
バス便数	JR 稲毛駅東口	789（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
	JR 稲毛駅西口	530（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
	京成稻毛駅	49（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）	
生活関連施設数	21施設		
生活関連経路延長	約5,490m		
500m圏人口	12,749人	※JR 稲毛駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)	
500m圏高齢者数	2,180人		
500m圏高齢化率	17%		
従前の基本構想からの主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・京成稻毛駅、稻毛公民館（稻毛公園）を含むよう地区拡大 ・穴川駅を含むよう地区拡大		

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR/京成稻毛地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも多く、高齢化率の低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、病院や福祉施設、大規模店舗が集積しています。また、駅から1km以上離れた場所に稻毛区役所をはじめ公共施設が集積しています。

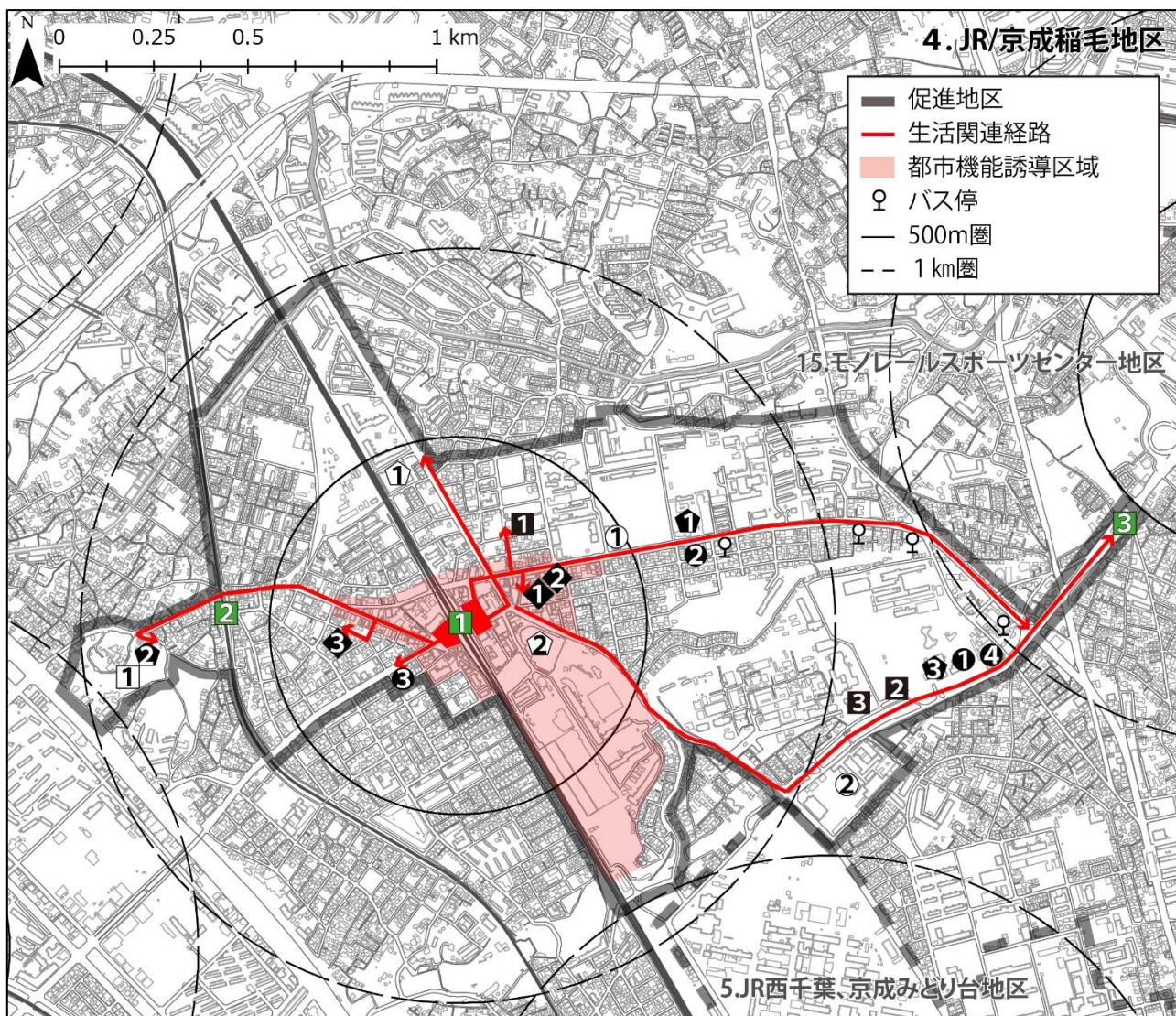
駅周辺の主な土地利用は住宅であり、JR 稲毛駅の南東側に設定されている都市機能誘導区域内の大規模倉庫跡地周辺では、市街地再開発事業に向けた検討が進んでいます。

JR 稲毛駅は乗降客数が多い駅です。バス便数もJR 千葉駅に次いで多く、駅西側は稻毛海岸駅方面へ、駅東側は稻毛区役所方面へのアクセスが充実しています。東口駅前広場は再整備に向けた検討が行われています。

稻毛区役所方面へはバス利用が多いことが想定されるため、区役所付近のバス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。また、JR 稲毛駅と京成稻毛駅間を結ぶ道路は歩道がなく交通量も多いため、歩行環境の改善が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称	種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 稲毛駅	保健施設 ・病院	1	稻毛病院
	2	京成稻毛駅		2	稻毛保健福祉センター
	3	モノレール穴川駅		3	独立行政法人 放射線医学総合研究所
公共施設	1	稻毛区役所 ※1	文化・教養 ・教育施設	1	稻毛図書館
	2	千葉小仲台郵便局		2	敬愛大学
	3	稻毛駅前郵便局	大規模 店舗	1	マルエツ稻毛店
	4	稻毛市税出張所 ※1		2	イオン稻毛店
集会施設	1	小中台公民館	都市公園	1	稻毛公園
	2	稻毛公民館			
	3	穴川コミュニティセンター			
福祉施設	1	子育てひろば・いなげ (稻毛保育園内)			
	2	千葉市あんしんケアセンター小仲台			
	3	千葉市あんしんケアセンター稻毛			

※は同一建物内



JR 稲毛駅駅前広場

5 JR 西千葉、京成みどり台地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	121.0ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 西千葉駅	44,770人（平成30年度）
	京成みどり台駅	7,767人（平成30年度）
バス便数	西千葉駅	186（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	西千葉駅西口	8（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	9施設	
生活関連経路延長	約2,640m	
500m圏人口	7,514人	※JR 西千葉駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,347人	
500m圏高齢化率	18%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

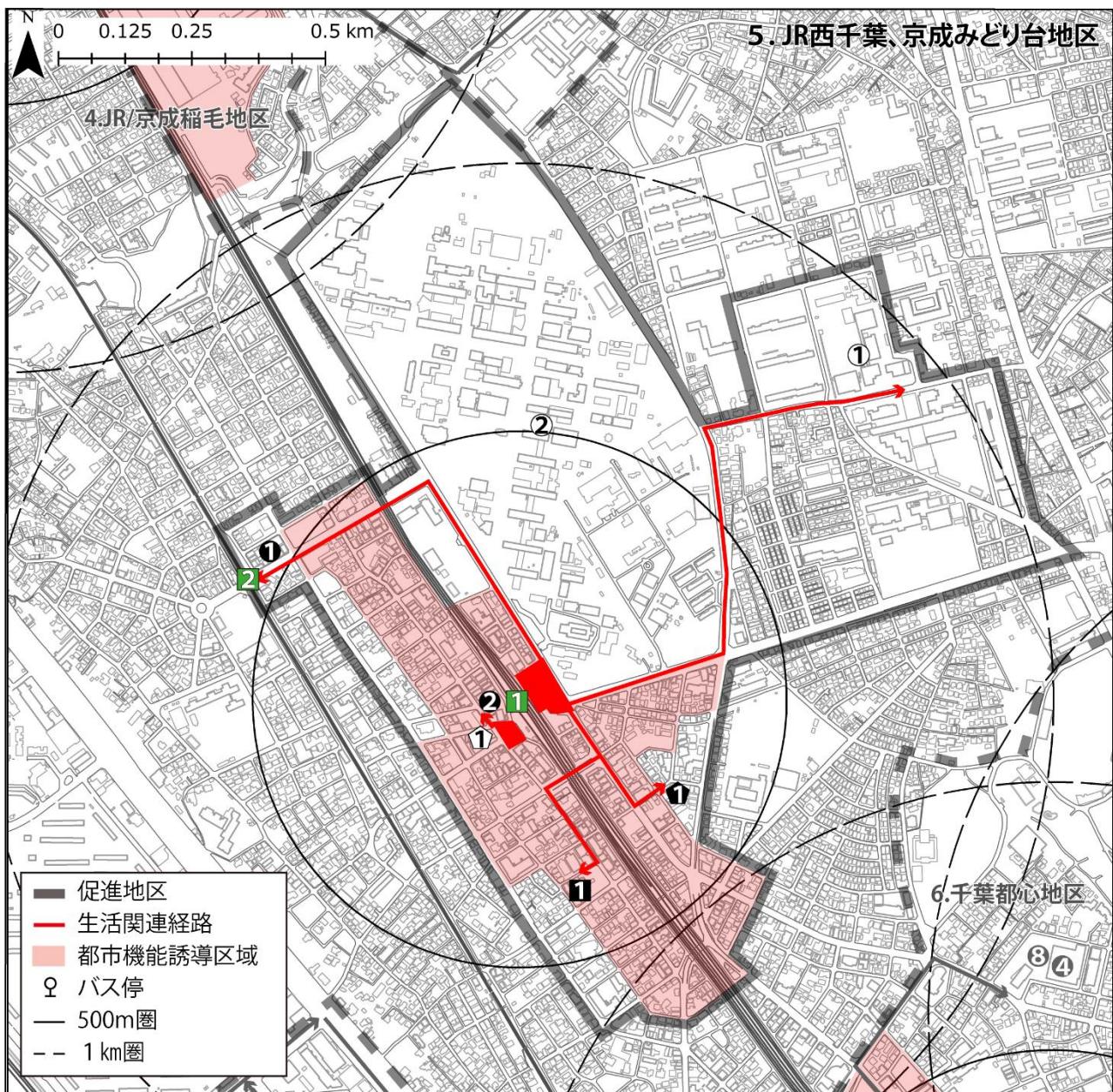
JR 西千葉、京成みどり台地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的となっており、高齢化率が比較的低い地区です。駅から 500m 程度の範囲内に、病院や大学、大規模店舗などが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅及び公共公益用地（大学）であり、駅周辺に南北に長く都市機能誘導区域が設定されています。

JR 西千葉駅は、乗降客数が比較的多い駅です。バス便数は比較的少なく、北口側から作草部駅方面へアクセスしています。京成みどり台駅には路線バスがありません。

道路や主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、JR 西千葉駅南北の駅前広場は整備時期が古く、視覚障害者誘導用ブロックの規格や敷設方法が不適切な状況があったり、身体障害者用乗降場が無い（南口）などの課題があります。また、改札階が半地下となっており、長いスロープでのアプローチとなっていることから、駅前広場と駅の接続部における更なるバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 西千葉駅
	2	京成みどり台駅
公共施設	1	千葉緑町郵便局
	2	西千葉駅前郵便局
集会施設	1	中央コミュニティセンター松波分室
保健施設 ・病院	1	増田病院
文化・教養 ・教育施設	1	千葉経済大学
	2	国立大学法人千葉大学
大規模店舗	1	西友西千葉店



JR 西千葉駅駅前広場



京成みどり台駅

6 千葉都心地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	都心	
面積（促進地区）	607.0ha	
旅客施設 (3000人/日以上)	JR 千葉駅	216,242人（平成30年度）
	JR 東千葉駅	5,136人（平成30年度）
	JR 千葉みなと駅	34,382人（平成30年度）
	JR 本千葉駅	23,210人（平成30年度）
	京成千葉駅	29,174人（平成30年度）
	京成千葉中央駅	18,322人（平成30年度）
	モノレール千葉みなと駅	15,865人（平成29年度）
	モノレール市役所前駅	4,645人（平成29年度）
	モノレール千葉駅	25,466人（平成29年度）
バス便数	千葉駅東口	1,179（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉駅西口	150（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉駅北口	2（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉みなと駅	102（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉みなと駅西口	38（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	本千葉駅前	46（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉中央駅	29（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉中央駅西口	18（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉中央駅東口	18（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	99施設	
生活関連経路延長	約24,810m	
500m圏人口	5,568人	※JR千葉駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,068人	
500m圏高齢化率	19%	
従前の基本構想からの主な変更点	・東千葉駅東側の施設（病院・公民館等）を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

千葉都心地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が比較的低い地区です。駅周辺の土地利用は商業・事務所系となっており、市内で最大の都市機能誘導区域が設定されています。千葉駅から県庁周辺、市役所からケーズハーバー周辺に、主要公共施設、文化施設、病院、大規模店舗、宿泊施設などが集積しています。

JR 千葉駅をはじめ JR 線 4 駅、京成線 3 駅、モノレール 7 駅、旅客船ターミナルの 15 の旅客施設が立地し、そのうち 9 施設が 3000 人以上/日の乗降客数となっています。

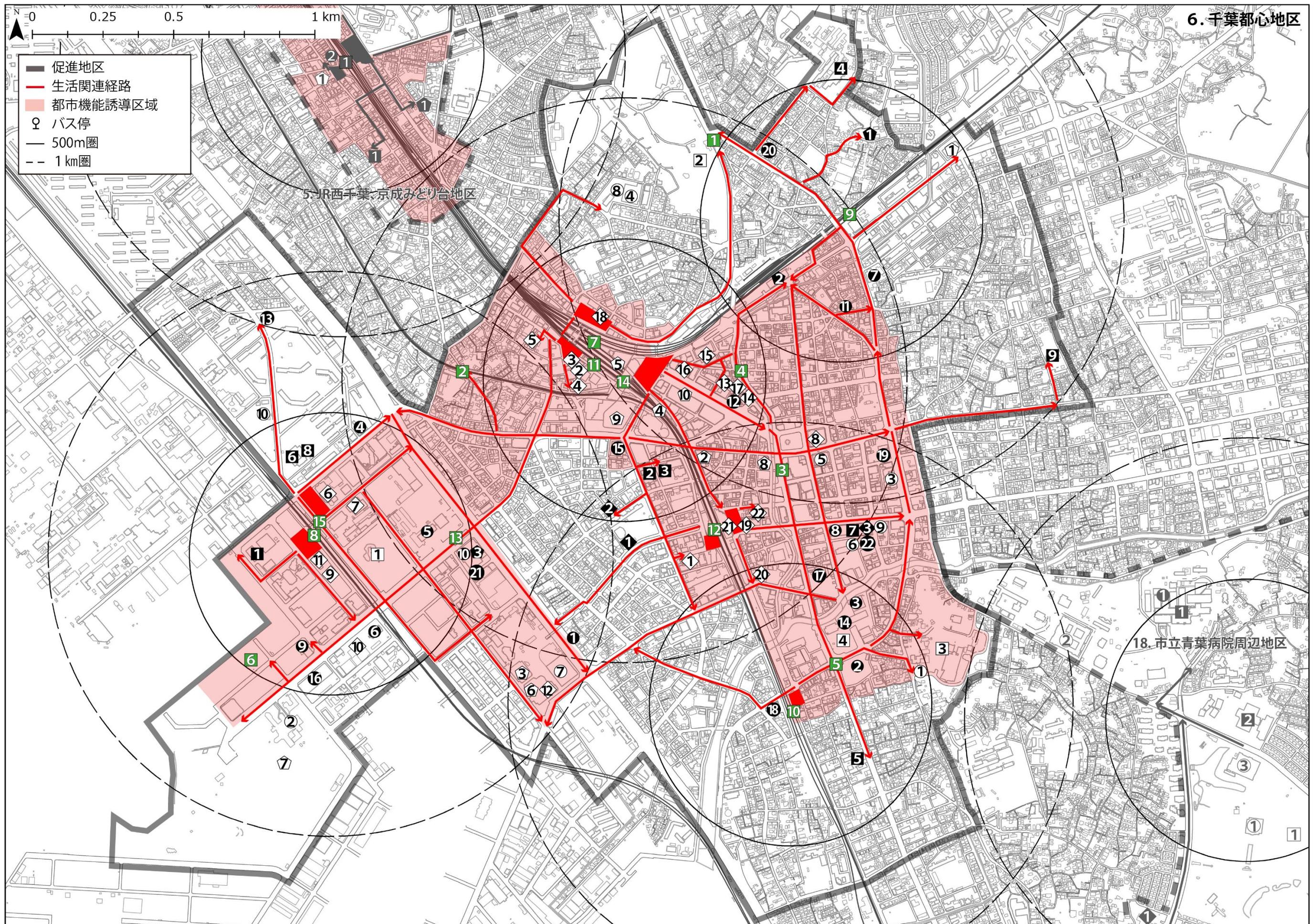
JR 千葉駅は、市内で乗降客数が最も多い駅です。バス便数も最も多くなっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され充実していますが、一部、歩道上の勾配や視覚障害者誘導用ブロックの劣化、施設間や施設内の案内誘導等、移動の連続性が十分ではない状況も見受けられ、経路・施設の一体的なバリアフリー化のさらなる推進が求められます。また、千葉市の中心として都市整備は一定レベルの水準に達している中で、情報提供、案内誘導、心のバリアフリーの充実などソフト施策の充実が図られることが期待されています。

地区内では駅周辺の再開発事業や新庁舎整備、千葉公園の再整備等に向けて検討が進められており、これらの取組みと連携しバリアフリーのまちづくりの充実が図られることが期待されます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	モノレール千葉公園駅
	2	京成新千葉駅
	3	モノレール葭川公園駅
	4	モノレール栄町駅
	5	モノレール県庁前駅
	6	ケーズハーバー
	7	JR 千葉駅
	8	JR 千葉みなと駅
	9	JR 東千葉駅
	10	JR 本千葉駅
	11	京成千葉駅
	12	京成千葉中央駅
	13	モノレール市役所前駅
	14	モノレール千葉駅
	15	モノレール千葉みなと駅
公共施設	1	新宿郵便局
	2	千葉県警察本部
	3	千葉県庁
	4	千葉公共職業安定所
	5	千葉市役所
	6	千葉中央警察署
	7	千葉東税務署
	8	中央区役所 ※1
	9	日本年金機構 千葉年金事務所
	10	千葉 CC プラザ内郵便局 ※2
	11	千葉院内郵便局
	12	千葉駅前大通り郵便局
	13	千葉ガーデンタウン郵便局
	14	千葉県庁内郵便局
	15	千葉新町郵便局
	16	千葉中央郵便局
	17	千葉中央四郵便局
	18	本千葉駅前郵便局
	19	若葉郵便局
	20	千葉椿森郵便局
	21	市役所前市民センター ※2
	22	中央市税出張所

種別	番号	施設名称
集会施設	1	椿森公民館
	2	千葉市民会館
	3	中央コミュニティセンター ※2
福祉施設	1	にこにこルーム(新宿保育所内)
	2	千葉市あんしんケアセンター中央
	3	千葉市社会福祉協議会 ※1
保健施設 ・病院	1	千葉みなと病院
	2	三愛記念病院
	3	井上記念病院
	4	国立病院機構千葉医療センター
	5	柏戸病院
	6	総合保健医療センター ※3
	7	中央保健福祉センター ※1
	8	千葉市保健所 ※3
	9	医療法人社団福生会 斎藤労災病院
	10	県立中央図書館
文化・教養・ 教育施設	2	県立美術館
	3	千葉市美術館
	4	千葉市生涯学習センター ※4
	5	文化センター
	6	きぼーる ※1
	7	千葉ポートアリーナ
	8	千葉市中央図書館 ※4
	9	千葉市科学館 ※1
	10	幸町公園水泳プール
	11	BOOKOFFスーパー・バザー東千葉祐光
大規模店舗	2	千葉EXビル
	3	ポートタウン
	4	千葉ショッピングセンター C-one
	5	ペリエ千葉店
	6	千葉ポートスクエア ※5
	7	千葉ポートパーク
	8	日土地千葉ビル
	9	株式会社そごう・西武 そごう千葉店
	10	塚本大千葉ビル ヨドバシカメラ 千葉店
	11	ホテルシュランザCHIBA
宿泊施設	2	ホテルサンシティ千葉
	3	ホテルサンルート千葉

種別	番号	施設名称
都市公園	4	バーディーホテル千葉
	5	HOTEL LiVEMAX 千葉駅前
	6	公立学校共済組合千葉宿泊所 ポート プラザ千葉
	7	ホテル ニューツカモト
	8	三井ガーデンホテル千葉
	9	HOTEL LiVEMAX 千葉みなと駅前
	10	千葉県市町村職員共済会館 オークラ 千葉ホテル
	11	東横イン千葉みなと駅前
	12	カンデオホテルズ千葉 ※5
	13	ベッセルイン千葉駅前
	14	東横イン千葉駅前
	15	東横イン千葉駅東口
	16	ダイワロイネットホテル千葉駅前
	17	千葉ワシントンホテル
	18	スーパーホテル千葉駅前
	19	ダイワロイネットホテル千葉中央
	20	ホテル ルートイン千葉
	21	京成ホテルミラマーレ
	22	HOTEL BaliAn RESORT 千葉中央店
都市公園	1	みなと公園
都市公園	2	千葉公園
都市公園	3	亥鼻公園
都市公園	4	羽衣公園
駐車場	1	栄町立体駐車場

※は同一建物内



JR 千葉駅東口



JR 千葉駅駅前広場

7 JR 蘇我地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	都心	
面積（促進地区）	227.0ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 蘇我駅	68,488人（平成30年度）
バス便数	蘇我駅東口	156（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	蘇我駅東入口	151（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	蘇我駅西口	45（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	蘇我駅入口	1（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	22施設	
生活関連経路延長	約6,770m	
500m圏人口	6,683人	※JR 蘇我駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,060人	
500m圏高齢化率	16%	
従前の基本構想から の主な変更点	<ul style="list-style-type: none">千葉宮崎郵便局を含むよう地区拡大京成千葉寺駅までの経路を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR 蘇我地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅から500m程度の範囲内に主に公共施設、ホテル、病院が立地し、1km圏の海側には、スポーツ施設やショッピングセンターが立地しています。

駅周辺の主な土地利用は、商業・事務所系となっており、駅を中心に都市機能誘導区域が設定されています。

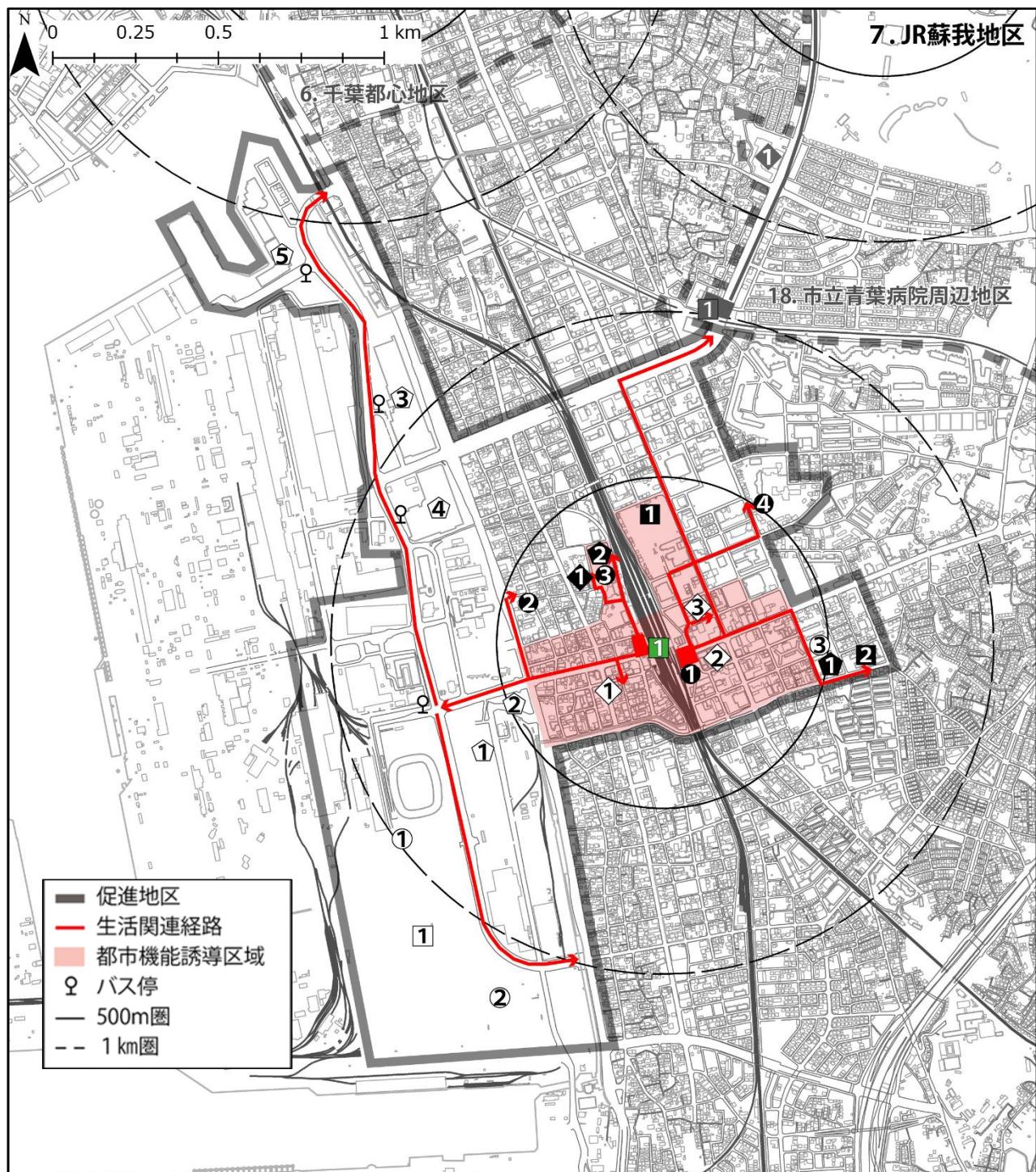
JR 蘇我駅の乗降客数及びバス便数は多く、東口からはJR千葉駅やJR鎌取駅方面へ、西口からは蘇我スポーツ公園方面へのアクセスが充実しています。また、駅とハーバーシティ蘇我間はノンステップバスによる無料巡回バスが運行されています。

駅や主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、東口側では歩道がない道路や狭い道路が多く、視覚障害者誘導用ブロックが無いなどバリアフリー化されていない区間があり、駅前広場のトイレは狭く少ないとから改善が求められています。また、東口駅前広場や西口の歩道橋部など、一部視覚障害者誘導用ブロックの規格が古い箇所や劣化が目立つ箇所があります。

蘇我スポーツ公園の整備が進んでおり、整備の進捗に合わせて更なる来訪者の増加が見込まれます。また、東口駅前広場再整備に関する検討が進んでいます。これらの取組みと連携しバリアフリーのまちづくりの充実が図られることが期待されます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 蘇我駅
公共施設	1	千葉南公共職業安定所
	2	千葉今井郵便局
	3	蘇我駅前連絡所
	4	千葉宮崎郵便局
集会施設	1	宮崎公民館
	2	蘇我コミュニティセンター
福祉施設	1	蘇我いきいきセンター
保健施設	1	千葉メディカルセンター
・病院	2	三愛記念そが病院
文化・教養・ 教育施設	1	フクダ電子スクエア
	2	フクダ電子ヒルスコート
	3	宮崎スポーツ広場
大規模店舗	1	GLOBO(グローボ)
	2	ケーズデンキ ハーバーシティ蘇我本店
	3	アリオ蘇我
	4	ホームズ蘇我店
	5	フェスティバルウォーク蘇我
宿泊施設	1	アーバンホテル三幸
	2	ドーミーイン千葉 City Soga
	3	ホテルソガ インターナショナル
都市公園	1	千葉市蘇我スポーツ公園



JR 蘇我駅



フクダ電子アリーナ
(千葉市蘇我スポーツ公園内)



JR 蘇我駅西口歩道橋



ハーバーシティ蘇我無料巡回バス

8 JR 浜野地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	40.5ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 浜野駅	15,230人（平成30年度）
バス便数	浜野駅東口	44（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	浜野駅前	17（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	5施設	
生活関連経路延長	約720m	
500m圏人口	5,297人	※JR 浜野駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,191人	
500m圏高齢化率	22%	
従前の基本構想から の主な変更点	変更なし	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

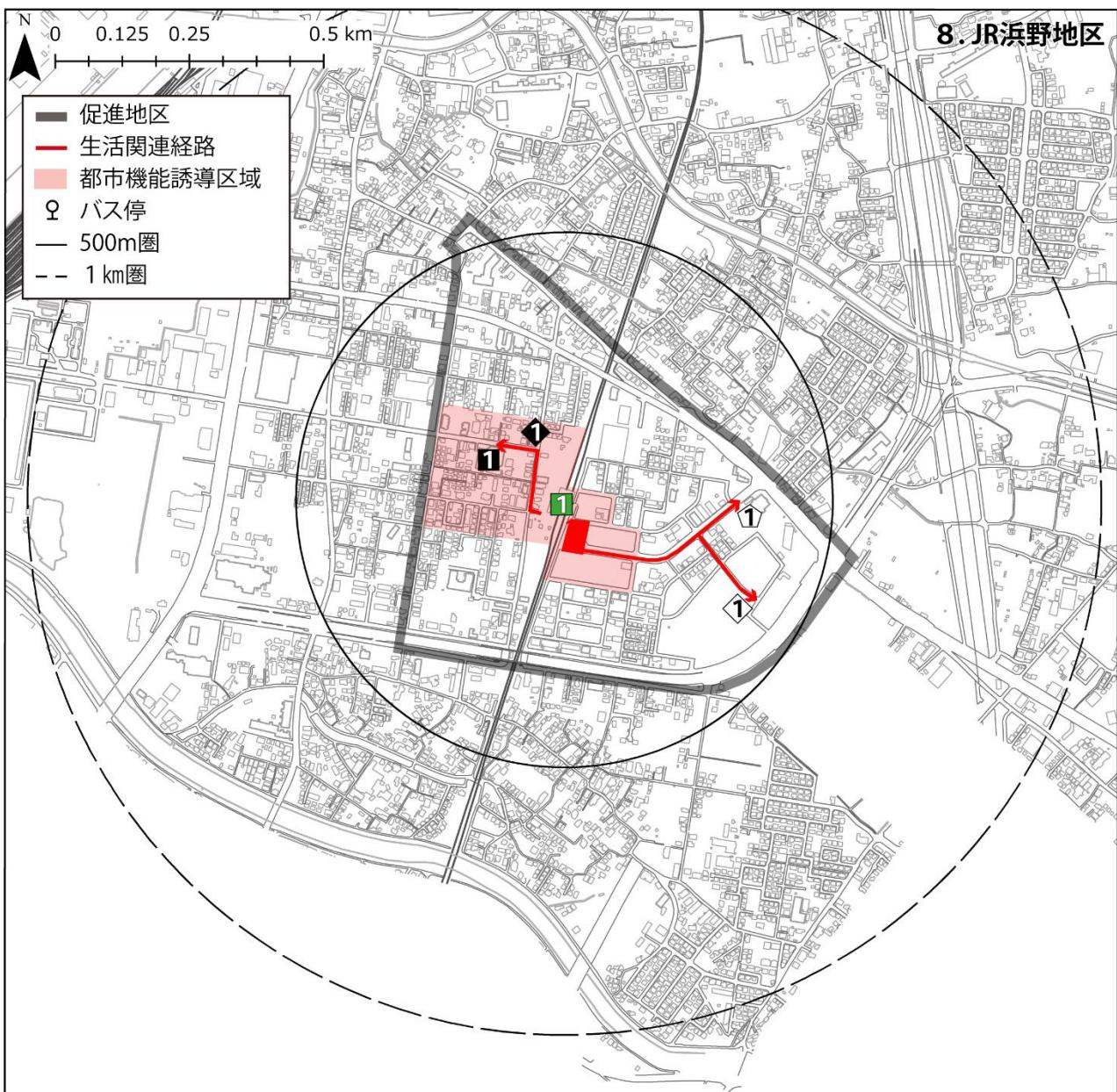
JR 浜野地区は、駅周辺の人口及び高齢化率が促進地区のうちでも平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、病院、福祉施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅を中心にコンパクトな都市機能誘導区域が設定されています。

JR 浜野駅の乗降客数は平均的で、バス便数は少なく、鎌取駅方面、菊間団地方面へアクセスしています。

駅や駅前広場、主な施設は基本的にバリアフリー化されていますが、西口側の経路は歩道がない道路や狭い道路であり、バリアフリー化は困難な状況です。東側では、新たに生活関連施設に追加したホテルへの経路で、視覚障害者誘導用ブロックが未整備となっています。駅周辺に案内表示が少なく、案内の充実が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 浜野駅
福祉施設	◆1	千葉市あんしんケアセンター浜野
保健施設 ・病院	1	石郷岡病院
大規模店舗	1	ベルク千葉浜野店
宿泊施設	◆1	チサンイン千葉浜野R16



9 JR 鎌取地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	76.0ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 鎌取駅	41,514人（平成30年度）
バス便数	鎌取駅南口	252（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	鎌取駅北口	202（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	11施設	
生活関連経路延長	約3,500m	
500m圏人口	5,682人	※JR 鎌取駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	822人	
500m圏高齢化率	14%	
従前の基本構想から の主な変更点	有吉貝塚公園を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

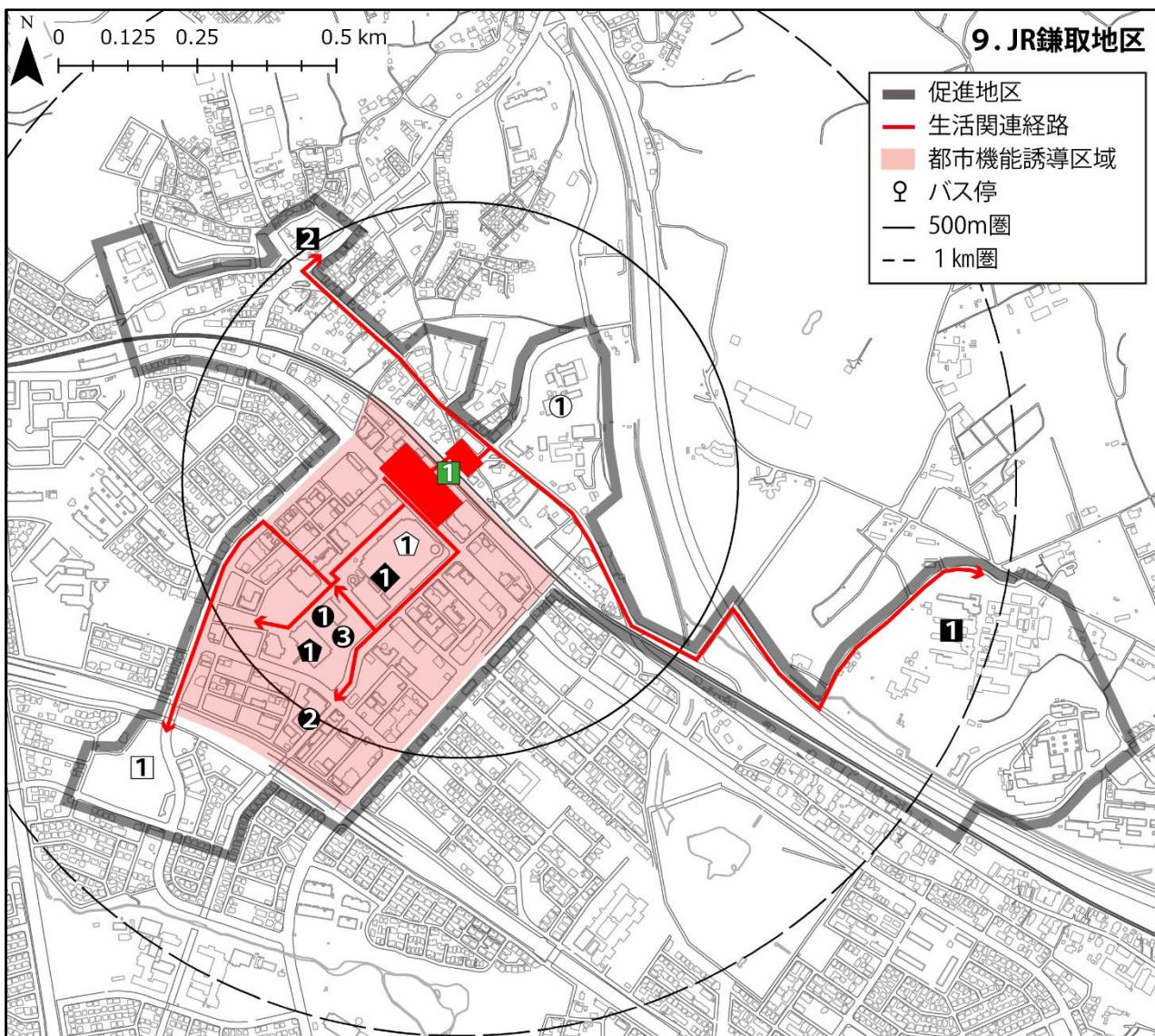
JR 鎌取地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅南口は歩行者専用道となっており、公共施設、集会施設、福祉施設、大規模店舗が集積しています。1km圏域内に広域からの利用が想定される下総精神医療センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は商業・業務系、中高層住宅が多く、駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 鎌取駅の乗降客数は平均的です。バス便数は比較的多く、千葉・蘇我駅方面や誉田駅方面などへアクセスしています。

南口側の駅や道路、施設は基本的に歩道が広く、視覚障害者誘導用ブロックが整備されているなどバリアフリー化されていますが、デッキ構造となっていることからバリアフリールートの案内の充実などが必要です。北口側では大網街道の歩道が狭く、また下総精神医療センター方面への経路は路側帯もない道路となっており、歩行環境の改善が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 鎌取駅
公共施設	1	緑区役所 ※1
	2	千葉緑郵便局
	3	緑市税出張所 ※1
集会施設	1	鎌取コミュニティセンター
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター鎌取 ※2
保健施設	1	国立病院機構下総精神医療センター
・病院	2	緑保健福祉センター
文化・教養 ・教育施設	1	県立千葉聾学校
大規模店舗	1	イオンスタイル鎌取 ※2
都市公園	1	有吉貝塚公園

※は同一建物内



JR 鎌取駅



JR 鎌取駅前ペデストリアンデッキ

10 JR 誉田地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	63.9ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 誉田駅	14,056人（平成30年度）
バス便数	誉田駅南口	86（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	誉田駅北口	2（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	4施設	
生活関連経路延長	約1,900m	
500m圏人口	4,265人	※JR 誉田駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,298人	
500m圏高齢化率	30%	
従前の基本構想から の主な変更点	誉田駅前郵便局、誉田市民センターを含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

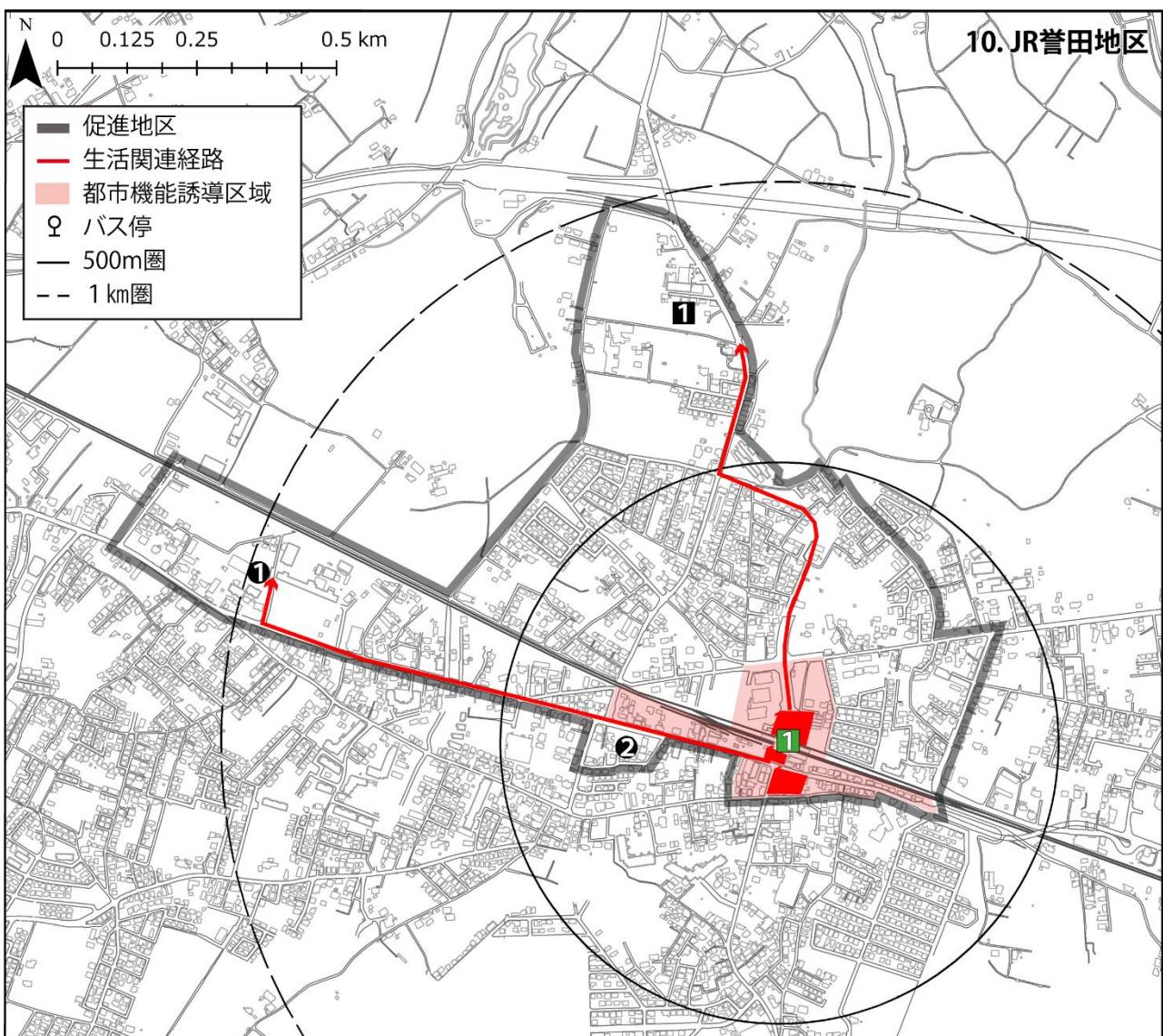
JR 誉田地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率が比較的高い地区です。駅から500m程度の範囲内に郵便局、1km圏内に病院、市民センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅となっており、駅周辺にコンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。

JR 誉田駅の乗降客数は平均的です。バス便数は少なく、鎌取駅・蘇我駅方面、越智地域へアクセスしています。

駅及び北口の経路・施設は基本的にバリアフリー化されていますが、南口側では大網街道で狭い歩道が断続的に設置されている状況であり、バリアフリー化されていません。また、駅から大網街道を挟んで南口駅前広場については、バスと自動車が錯綜している現状があり、予定されている整備事業において道路横断時の安全性の確保が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 誉田駅
公共施設	1	誉田市民センター
	2	誉田駅前郵便局
保健施設 ・病院	1	千葉南病院



JR 誉田駅



大網街道 (JR 誉田駅南口)

11 JR 土気地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	115ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 土気駅	26,670人（平成30年度）
バス便数	土気駅南口	157（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	土気駅北口	42（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	13施設	
生活関連経路延長	約3,200m	
500m圏人口	4,244人	※JR 土気駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,043人	
500m圏高齢化率	25%	
従前の基本構想から の主な変更点	桜ホットステーション親子を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR 土気地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率は平均的な地区です。駅から 500m 程度の範囲内に公共施設、集会施設、福祉施設が集積し、1km 程度離れたあすみが丘に病院、複合施設、大規模店舗が立地しています。

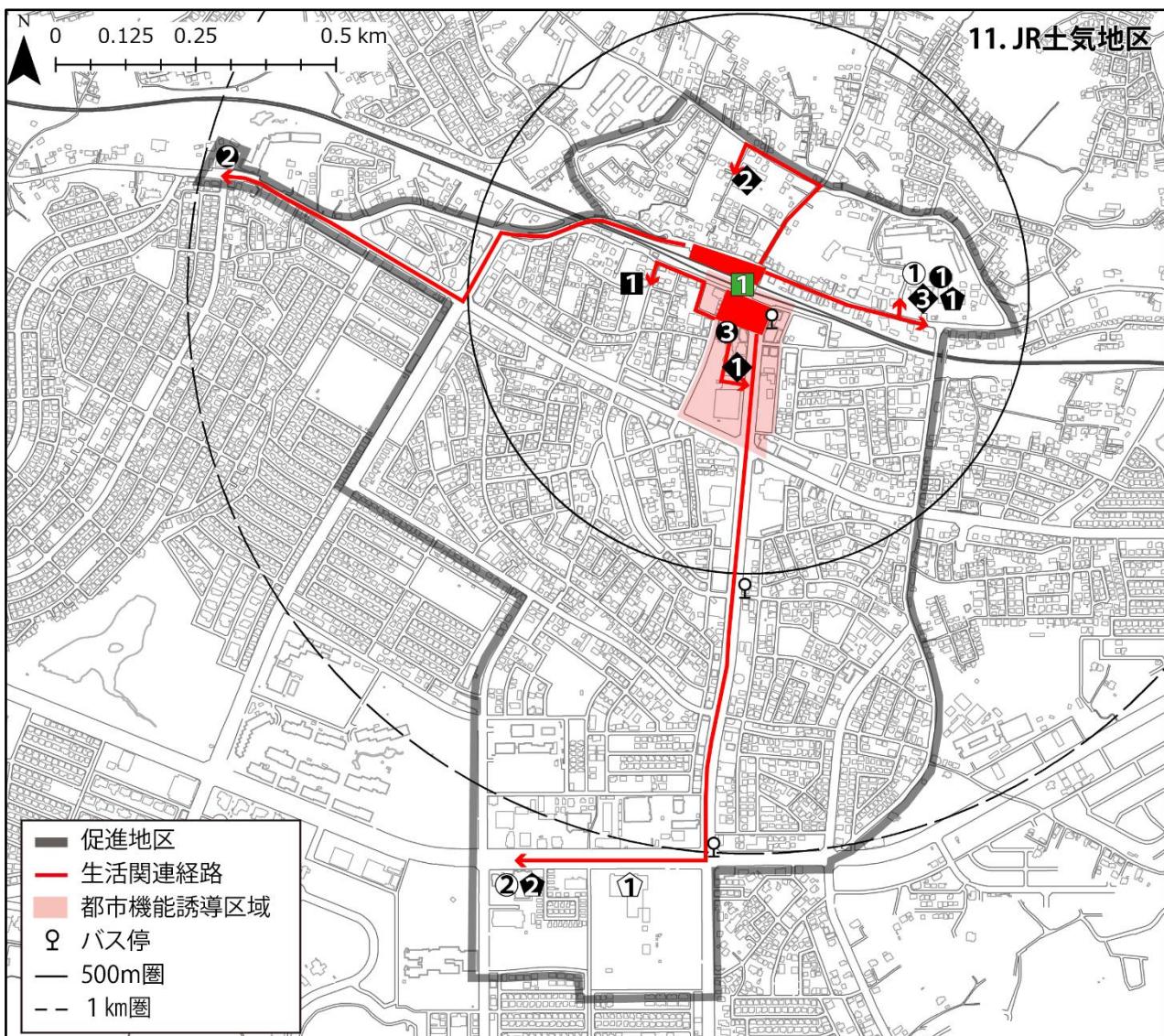
駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅南側に設定された都市機能誘導区域の一部はあすみが丘バーズモールとして歩行者専用空間となっています。

JR 土気駅の乗降客数及びバス便数は平均的で、南口からあすみが丘方面、北口から大椎台団地・誉田駅方面へアクセスしています。

駅及び駅前広場、南口側の道路、施設は基本的にバリアフリー化されていますが、あすみが丘ブランニューモール付近は長い坂道であり、車椅子による移動では負担が大きい経路です。駅北口側は大網街道で狭い歩道が断続的に続き、段差や勾配がありバリアフリー化が困難な状況です。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 土気駅
公共施設	1	土気市民センター ※1
	2	土気郵便局
	3	土気駅前郵便局
	1	土気公民館
集会施設	2	土気あすみが丘プラザ ※2
	1	千葉市あんしんケアセンター土気
	2	桜ほっとステーション親子
福祉施設	3	土気いきいきセンター ※1
	1	鏡戸病院
	1	緑図書館土気図書室 ※1
文化・教養 ・教育施設	2	緑図書館あすみが丘分館 ※2
	1	あすみが丘ブランニューモール

※は同一建物内



JR 土気駅南口駅前広場



大網街道 (JR 土気駅北口)

12 JR/モノレール都賀地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	42.2ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR都賀駅	42,150人（平成30年度）
	モノレール都賀駅	12,210人（平成29年度）
バス便数	都賀駅東口	176（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	都賀駅西口	47（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	15施設	
生活関連経路延長	約1,550m	
500m圏人口	8,246人	※JR都賀駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,753人	
500m圏高齢化率	21%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・若葉図書館西都賀分館を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

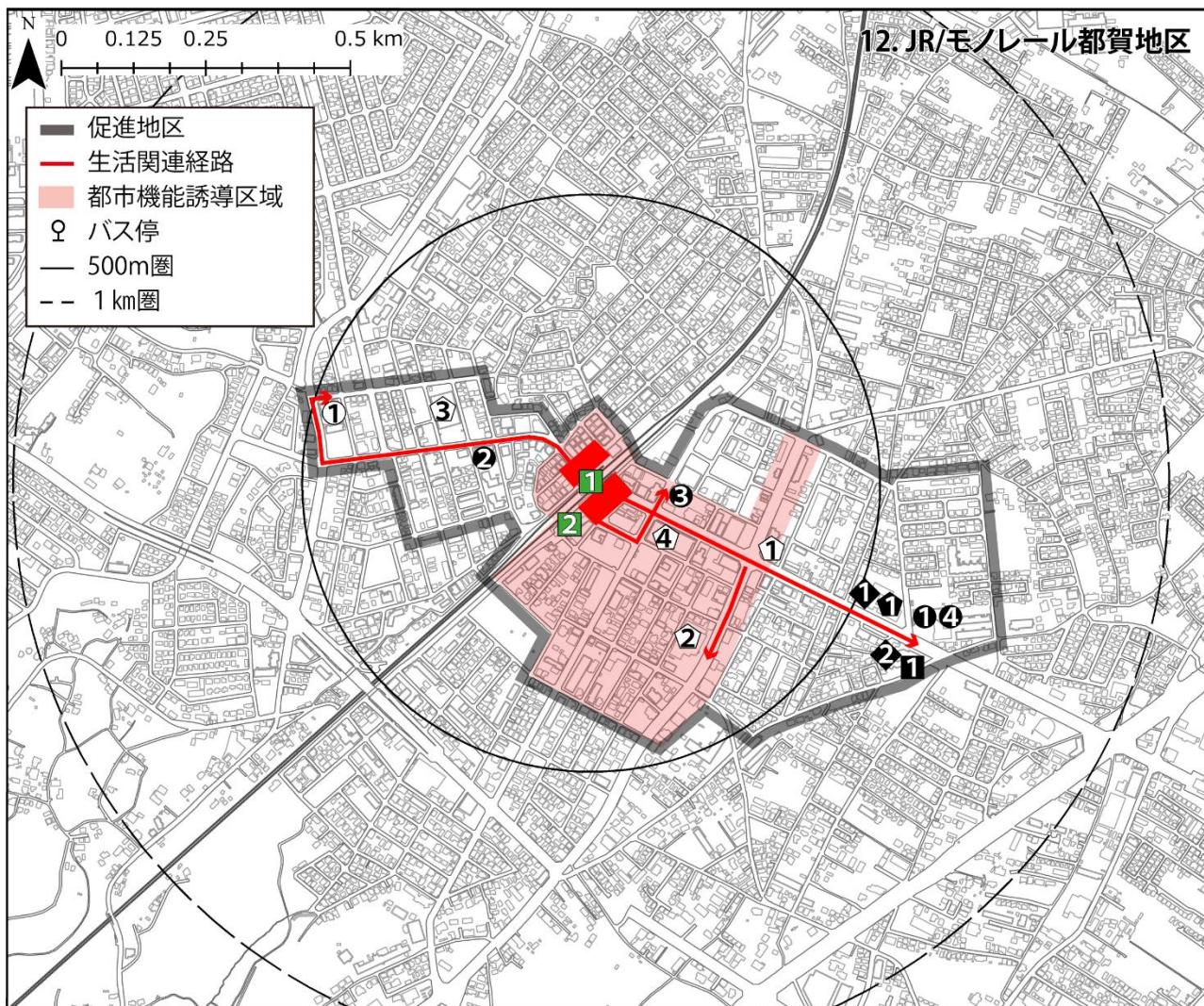
■地区の特徴と課題

JR/モノレール都賀地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の比較的低い地区です。駅から500m程度の所に、若葉区役所や若葉保健福祉センター等の公共施設が集積しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅の南東側に都市機能誘導区域が設定されています。乗換駅であり、JR都賀駅の乗降客数は市内でも比較的多いです。バス便数は平均的な本数となっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが一部劣化している箇所や、電柱と視覚障害者誘導用ブロックの距離が近すぎる箇所、側溝の蓋の隙間が大きい箇所が見受けられます。駅周辺では路上駐輪が多く、移動の妨げとなっています。また、JR都賀駅とモノレール都賀駅へ向かうルートの分岐点においてわかりやすい案内誘導が求められています。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 都賀駅
	2	モノレール都賀駅
公共施設	1	若葉区役所 ※1
	2	千葉西都賀郵便局
	3	都賀駅前郵便局
	4	東部市税事務所 ※1
集会施設	1	都賀コミュニティセンター ※2
福祉施設	1	都賀いきいきセンター ※2
	2	千葉市あんしんケアセンター桜木
保健施設・病院	1	若葉保健福祉センター
文化・教養・教育施設	1	若葉図書館西都賀分館
大規模店舗	1	ROOM DECO 都賀本店
	2	マルエツ新都賀店
	3	西友都賀店
	4	コナミスポーツクラブ都賀

※は同一建物内



JR 都賀駅東口駅前広場



JR 都賀駅西口駅前広場

13 JR 検見川浜地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積 (促進地区)	194.0ha	
旅客施設 (3000人/日以上) 乗降客数	JR 検見川浜駅	31,368人 (平成30年度)
バス便数	検見川浜駅	208(本/日)・片道(上下線平均) (2017年)
生活関連施設数	17施設	
生活関連経路延長	約5,480m	
500m圏人口	15,090人	※JR 検見川浜駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	4,383人	
500m圏高齢化率	29%	
従前の基本構想から の主な変更点	・都市機能誘導区域、真砂いきいきセンターを含むよう地区拡大 ・JR 稲毛海岸地区と重複しないように地区境界を精査	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

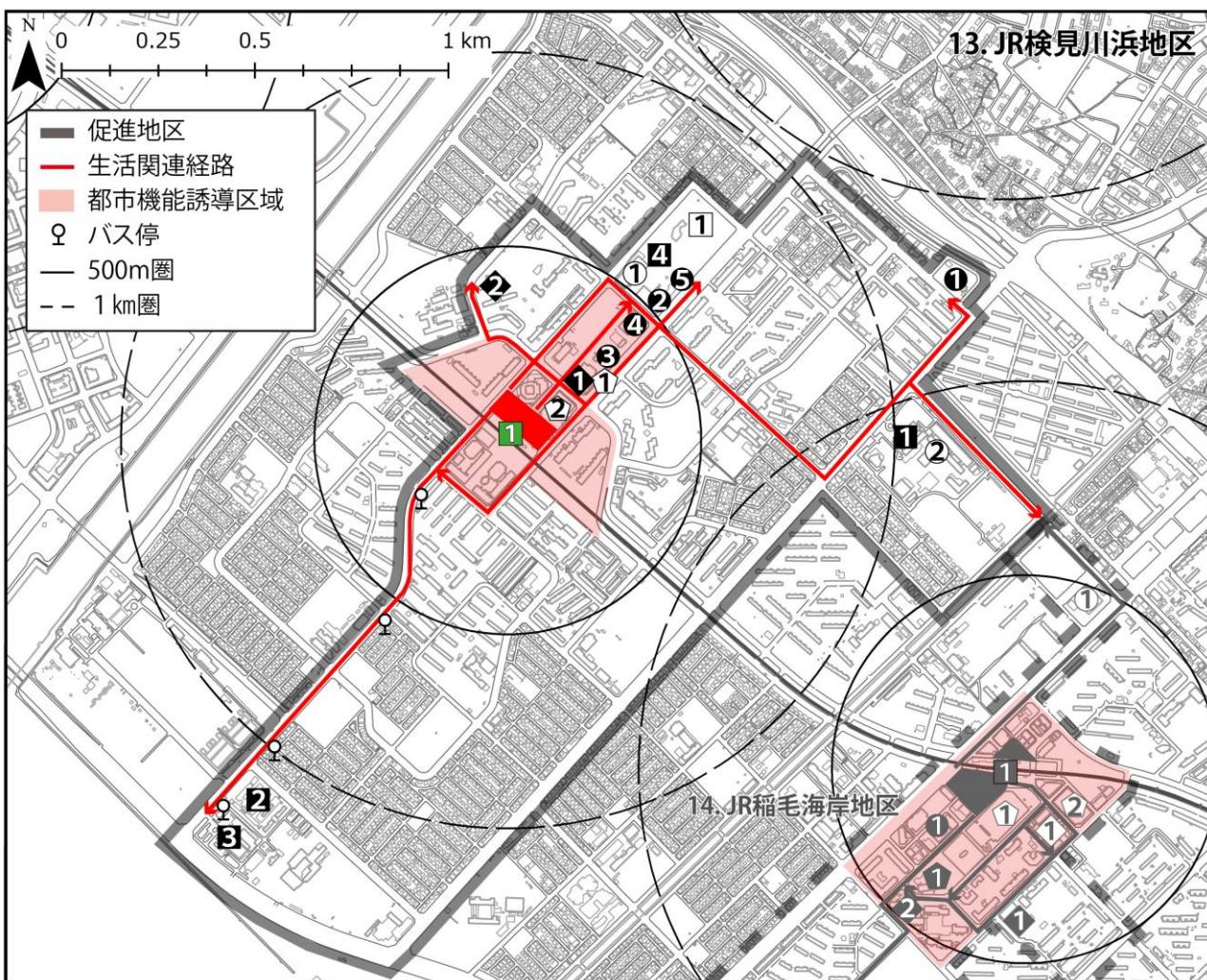
JR 検見川浜地区は駅周辺の人口が促進地区の中で最も多く、高齢化率も比較的高い地区です。駅前から北口方面は歩行者専用道となっており、沿道に主に地域住民の利用が想定される公共施設や大規模店舗が立地しています。駅を囲うように集合住宅が多く立地しており、北東側に都市機能誘導区域が設定されています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されています。広域から利用が想定される3つの病院（東京歯科大学千葉歯科医療センター、千葉県救急医療センター、海浜病院）は駅から1km以上離れており、バス利用が多いことが想定されます。海浜病院内へのバス便は少ないとから、近隣の磯部8丁目バス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。

JR 稲毛海岸駅との駅徒歩圏が重なっており、連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 検見川浜駅
公共施設	1	千葉西警察署
	2	美浜区役所 ※1
	3	千葉西県税事務所
	4	美浜郵便局
	5	西部市税事務所 ※1
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター真砂 ※2
	2	真砂いきいきセンター
保健施設・病院	1	東京歯科大学千葉歯科医療センター ※3
	2	千葉県救急医療センター
	3	海浜病院
	4	美浜保健福祉センター ※4
文化・教養・教育施設	1	美浜文化ホール ※4
	2	東京歯科大学 ※3
大規模店舗	1	ショッピングセンターPIA ※2
	2	イオンスタイル検見川浜
都市公園	1	真砂中央公園



JR 検見川浜駅北口駅前広場



JR 検見川浜駅南口

※は同一建物内

14 JR 稲毛海岸地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積 (促進地区)	50.3ha	
旅客施設 (3000人/日以上) 乗降客数	JR 稲毛海岸駅	43,444人 (平成30年度)
バス便数	稻毛海岸駅	334 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017年)
生活関連施設数	10施設	
生活関連経路延長	約3,040m	
500m圏人口	13,208人	※JR 稲毛海岸駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	3,051人	
500m圏高齢化率	23%	
従前の基本構想から の主な変更点	・JR 検見川浜地区と重複しないように地区境界を精査 ・千葉市あんしんケアセンター高洲を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

JR 稲毛海岸地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでJR 検見川浜地区に次いで多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500m程度の範囲内に、大規模店舗や福祉施設が立地しています。

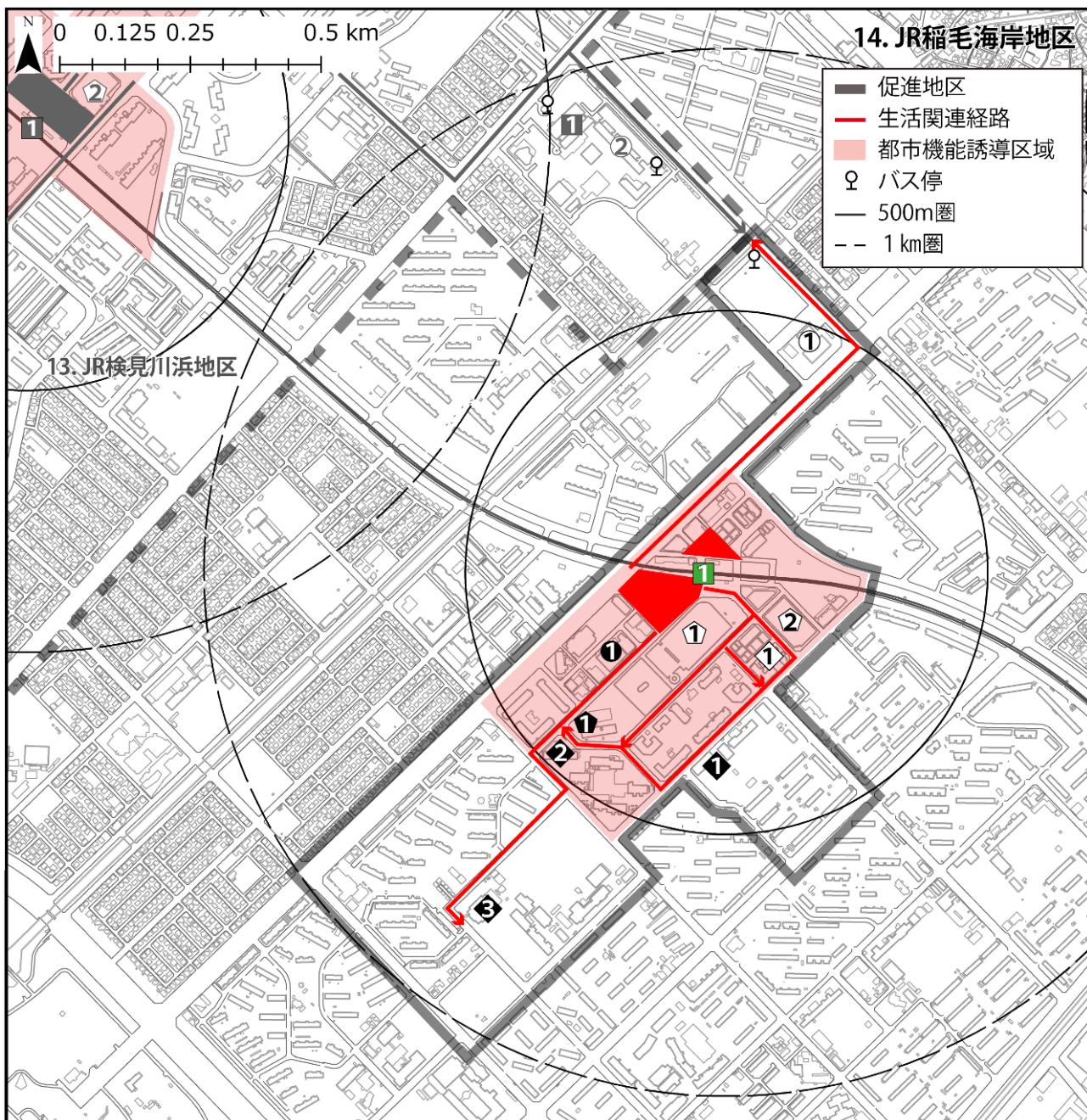
駅周辺の主な土地利用は商業及び住居であり、駅を囲うように集合住宅が多く立地しています。駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。また、JR 稲毛海岸駅の乗降客数、バス便数は比較的多くなっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、整備から時間が経過している区間では、一部、歩道上の勾配や視覚障害者誘導用ブロックの劣化、色が不鮮明の箇所が見受けられます。また、駐輪状況の改善を求める声もあり、ソフト的な対策も求められています。

JR 検見川浜駅との駅徒歩圏が重なっており、連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 稲毛海岸駅
公共施設	1	稻毛海岸駅前郵便局
集会施設	1	高須コミュニティセンター
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター高洲
	2	美浜いきいきプラザ
	3	療育センター
文化・教養・教育施設	1	高須市民プール体育館
大規模店舗	1	マリンピア
	2	イオンマリンピア専門館
宿泊施設	1	テトランゼ幕張稻毛海岸ホテル



JR 稲毛海岸駅



JR 稲毛海岸駅南口

15 モノレールスポーツセンター地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	連携地域拠点	
面積（促進地区）	99.9ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	モノレール スポーツセンター駅	5,119人（平成29年度）
バス便数	スポーツセンター駅	280（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	5施設	
生活関連経路延長	約1,120m	
500m圏人口	4,582人	※モノレールスポーツセンター駅を中心に 500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,304人	
500m圏高齢化率	28%	
従前の基本構想からの主な変更点	あやめ台団地都市機能誘導区域、あやめ台いきいきセンターを含むよう地区拡大	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

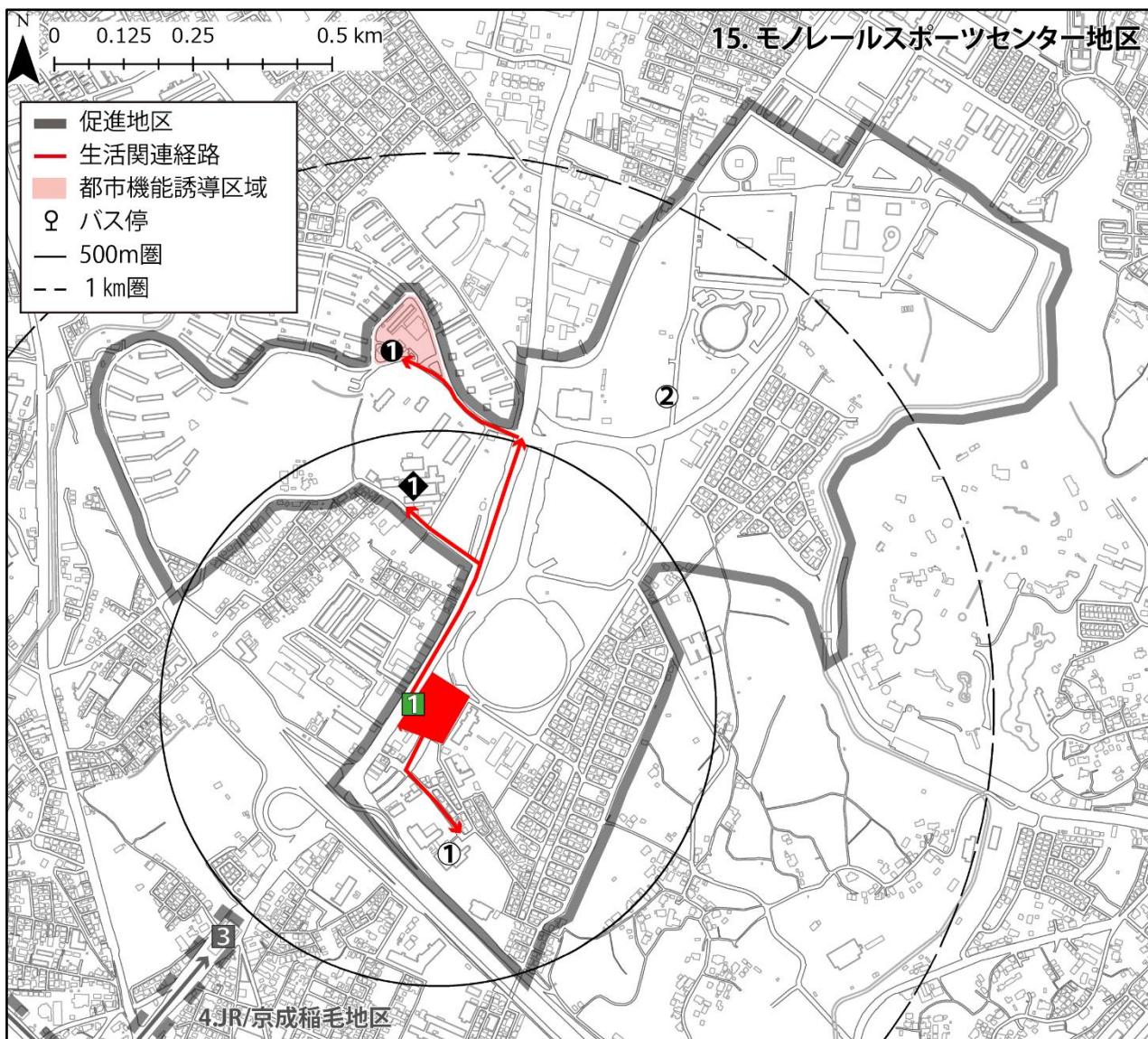
モノレールスポーツセンター地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率の比較的高い地区です。駅周辺の主な土地利用は住宅及び都市公園・緑地であり、北側に位置するあやめ台団地に都市機能誘導区域が設定されています。

駅からのバス便数は平均的で、特にあやめ台団地方面へのアクセスが充実していますが、駅前広場における案内等は簡素なものとなっています。

千葉県総合スポーツセンターは老朽化した施設が多く、順次大規模改修を進めています。スポーツセンターへ至る経路は、歩道の凹凸が大きく危険な箇所が指摘されています。また、バスによる利用も想定されるため、バス停付近におけるわかりやすい案内誘導が求められます。あやめ台団地に至る経路は歩道が狭く、視覚障害者誘導用ブロックも設置されていません。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	モノレールスポーツセンター駅
公共施設	1	千葉あやめ台郵便局
福祉施設	1	あやめ台いきいきセンター
文化・教養	1	千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター
・教育施設	2	千葉県総合スポーツセンター



モノレールスポーツセンター駅



駅からスポーツセンターへの経路

16 モノレール千城台地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	57.6ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	モノレール 千城台駅	8,283人（平成29年度）
バス便数	千城台駅	245（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	10施設	
生活関連経路延長	約2,100m	
500m圏人口	4,932人	※モノレール千城台駅を中心に500m圏の範囲で 算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,877人	
500m圏高齢化率	38%	
従前の基本構想から の主な変更点	変更なし	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

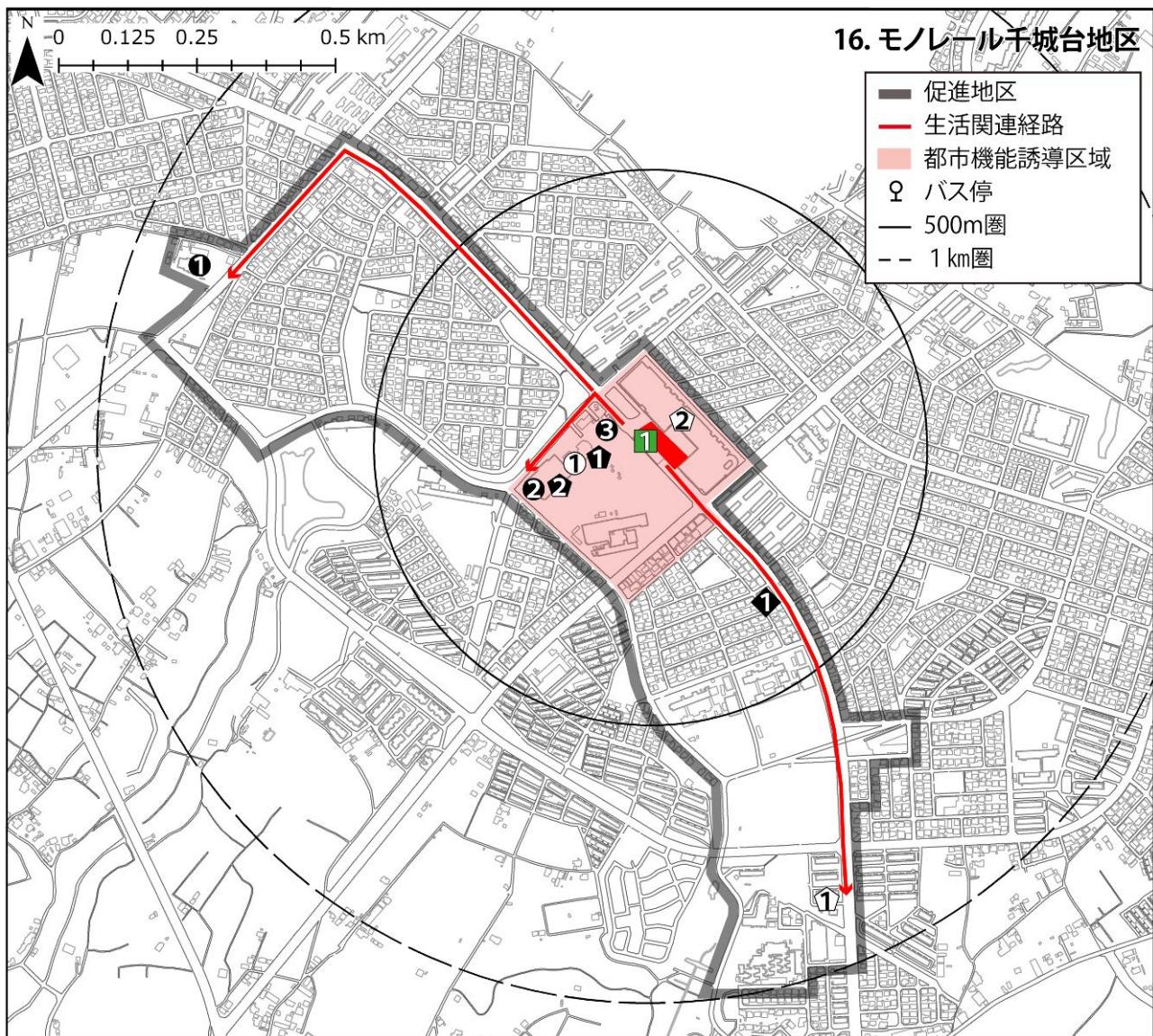
モノレール千城台地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率の高い地区です。駅から300m程度の範囲内に、集会施設等が集中して立地しています。

駅周辺の主な土地利用は商業及び住宅であり、南西側に都市機能誘導区域が設定されています。バス便数は平均的で、特に千葉駅方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、整備時期が古い区間では、舗装のがたつきや視覚障害者誘導用ブロックの規格が不揃いの箇所が見受けられます。また、駅前広場においては歩道の狭い箇所や案内が十分でない箇所があり、バス停については、停車位置により看板や柱と重なり乗車しにくい等の声があり、改善が求められています。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	モノレール千城台駅
公共施設	1	千葉東警察署
	2	千城台市民センター ※1
	3	千城台郵便局
集会施設	1	千城台公民館
	2	千城台コミュニティセンター ※1
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター千城台
文化・教養・教育施設	1	若葉図書館
大規模店舗	1	フードスクエア千城台店
	2	ラパーク千城台

※は同一建物内



モノレール千城台駅



モノレール千城台駅前バス停

17 JR 海浜幕張地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	都心	
面積 (促進地区)	381.0ha	
旅客施設 (3000人/日以上) 乗降客数	JR 海浜幕張駅	136,756人 (平成30年度)
バス便数	海浜幕張駅	712(本/日)・片道(上下線平均) (2017年)
	海浜幕張駅南口	126(本/日)・片道(上下線平均) (2017年)
生活関連施設数	29施設	
生活関連経路延長	約9,320m	
500m圏人口	1,565人	※JR 海浜幕張駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	128人	
500m圏高齢化率	8%	
従前の基本構想からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none">JR/京成幕張地区と重複しないように地区境界を精査千葉県運転免許センターを含むよう地区拡大イオンモール幕張新都心及び新駅を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

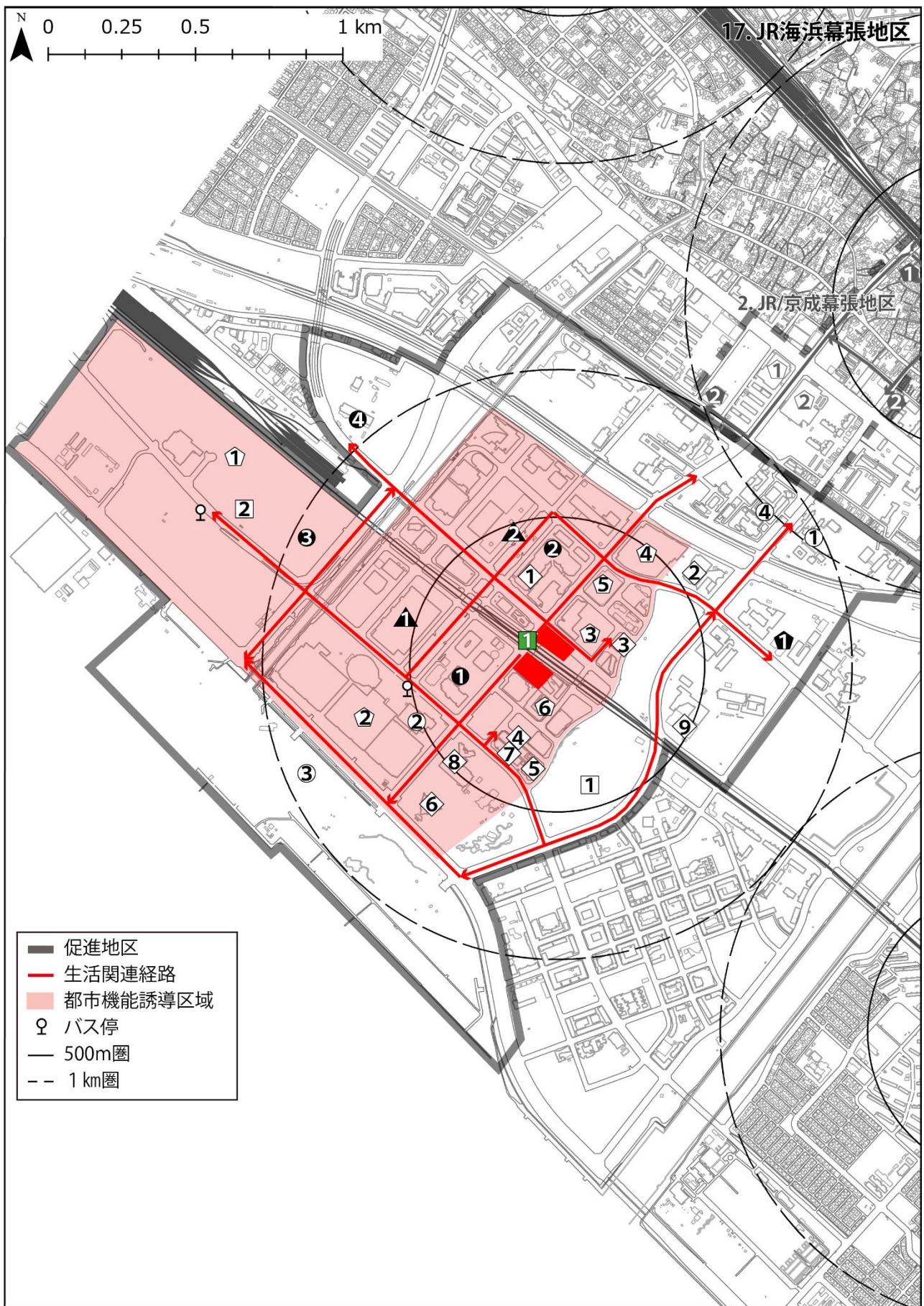
JR 海浜幕張地区は駅周辺の人口が促進地区のうちで最も少なく、高齢化率も最も低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、大規模店舗や宿泊施設が立地しています。

駅周辺の主な土地利用は商業であり、南側に広く都市機能誘導区域が設定されています。JR 海浜幕張駅の乗降客数は千葉都心に次いで多く、バスは幕張新都心の地域内や幕張本郷駅方面で充実しています。また、地区の西側では新駅の設置が進められており、併せてその周辺地区の住宅開発が予定されています。

駅周辺は歩行者デッキで結ばれ、比較的バリアフリー化が進行しています。また、幕張メッセが東京2020大会の会場となることを受け、駅から会場周辺までの再整備が実施されています。一方、北口駅前広場は多くのバス便数に対して、停留所への安全なアクセスや情報提供が十分でない部分が指摘されています。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。

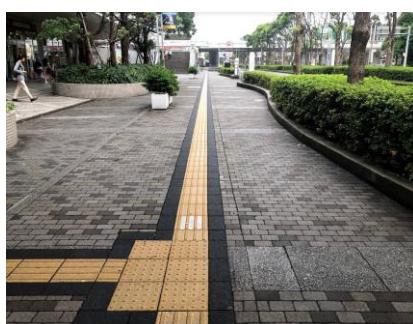


種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 海浜幕張駅
公共施設	1	ワールドビジネスガーデン内郵便局
	2	幕張テクノガーデン内郵便局 ※1
	3	イオンモール幕張新都心内郵便局 ※2
	4	千葉運転免許センター
集会施設	1	幕張勤労市民プラザ
文化・教養・教育施設	1	県立保健医療大学
	2	日本コンベンションセンター、幕張メッセ
	3	QVC マリンフィールド
	4	放送大学
大規模店舗	1	イオンモール幕張新都心 ※2
	2	幕張メッセ国際展示場
	3	スーク海浜幕張
	4	イオン幕張店
	5	ROOM DECO かねたや幕張新都心店
	6	三井アウトレットパーク幕張
宿泊施設	1	セミナーハウス クロス・ウェーブ幕張 ※1
	2	幕張国際研修センター
	3	ホテルスプリングス幕張
	4	ホテルグリーンタワー幕張
	5	ホテル ザ・マンハッタン
	6	アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉
	7	ホテル フランクス
	8	ホテルニューオータニ幕張
	9	JA共済幕張研修センター
都市公園	1	幕張海浜公園
	2	豊砂公園
駐車場	1	千葉県幕張新都心第一地下駐車場
	2	千葉県幕張新都心第二地下駐車場

※は同一建物内



JR 海浜幕張駅駅前広場



国際大通りの歩道



イオンモール幕張新都心

18 市立青葉病院周辺地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	なし	
面積（促進地区）	242.0ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	京成千葉寺駅	4,872人（平成30年度）
バス便数	市立青葉病院	154（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉寺駅	35（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	千葉寺駅入口	30（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	9施設	
生活関連経路延長	約1,790m	
500m圏人口	4,448人	※市立青葉病院を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,069人	
500m圏高齢化率	24%	
従前の基本構想からの主な変更点	変更なし	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

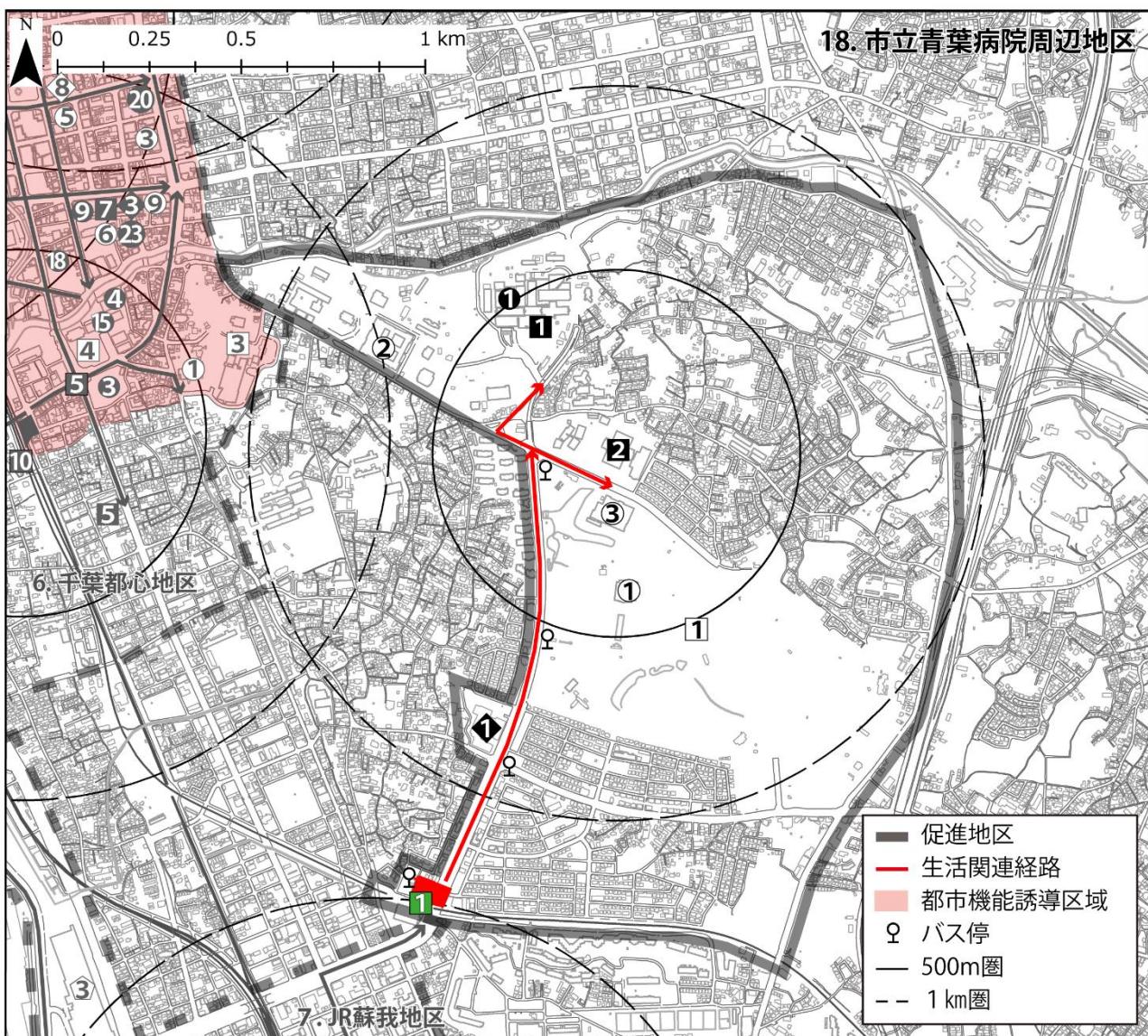
市立青葉病院周辺地区は、複数の病院や障害者施設が集積しており、促進地区の中で唯一都市機能誘導区域を含まない地域です。青葉病院周辺の人口は促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率は平均的です。青葉病院周辺の主な土地利用は住宅・公共公益用地・都市公園等です。バス便数は促進地区の中では比較的少ないですが、千葉駅方面へのアクセスが充実しています。

青葉病院から最寄りの京成千葉寺駅までは1.5km程度あり、主にバスによるアクセスが見込まれることから、バス利用環境の向上が求められます。

京成千葉寺駅には多機能トイレが無く、一般トイレ出入口には階段があることから、改善が求められています。駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが、整備時期が古い区間では、一部舗装のがたつきや視覚障害者誘導用ブロックの色や規格が不揃いの箇所が見受けられます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。
- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	京成千葉寺駅
公共施設	1	千葉大学病院内簡易郵便局 ※1
福祉施設	1	障害者福祉センター
保健施設 ・病院	1	国立大学法人千葉大学医学部付属病院 ※1
	2	青葉病院
文化・教養 ・教育施設	1	芸術文化ホール
	2	千葉大学大学院 医学研究院・医学部
	3	中央博物館
都市公園	1	青葉の森公園

※は同一建物内



京成千葉寺駅



青葉病院

19 大宮台団地地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	連携地域拠点	
面積（促進地区）	2.1ha	
バス便数	大宮団地	140（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	3施設	
生活関連経路延長	約130m	
500m圏人口	2,847人	※千葉中央バス大宮団地バスターミナルを中心に 500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,232人	
500m圏高齢化率	43%	
従前の基本構想からの主な変更点	都市機能誘導区域が指定されている団地で、大宮台連絡所、千葉大宮郵便局、千葉市あんしんケアセンター大宮台を含むよう地区設定	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

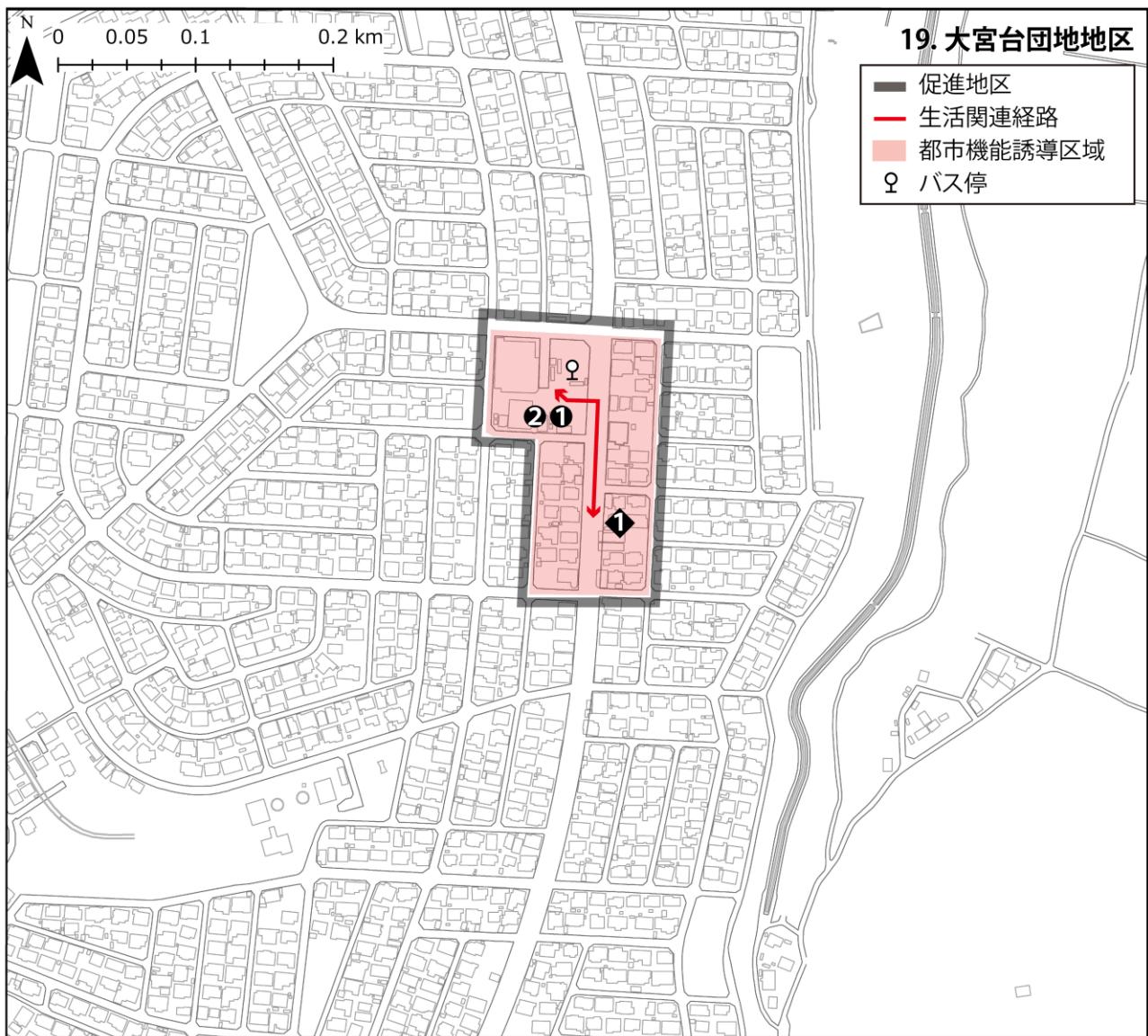
■地区の特徴と課題

大宮台団地地区は500m圏人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率がこてはし台団地地区に次いで高い地区です。アクセスの拠点となる大宮団地バスターミナルの南側に公共施設、福祉施設が立地し、コンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。バスは千葉駅方面へのアクセスが比較的充実しています。

バス停から生活関連施設間において、案内誘導や出入口の移動の連続性が十分ではない状況が見受けられ、経路・施設間の一体的なバリアフリー化が求められます。また、大宮団地バスターミナルを中心にバス利用者が多く見込まれることから、バスの利用環境の向上が求められます。

■バリアフリー方針

- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
公共施設	①	大宮台連絡所
	②	千葉大宮郵便局
福祉施設	◆	千葉市あんしんケアセンター大宮台



大宮団地バスターミナル



大宮台連絡所・千葉大宮郵便局

20 こてはし台団地地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	連携地域拠点	
面積（促進地区）	1.7ha	
バス便数	こてはし第三	98（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	3施設	
生活関連経路延長	約130m	
500m圏人口	2,776人	※こてはし第三バス停を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,216人	
500m圏高齢化率	44%	
従前の基本構想からの主な変更点	都市機能誘導区域が指定されている団地で、千葉こてはし台郵便局、千葉市あんしんケアセンターこてはし台、花見川図書館を含むよう地区設定	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

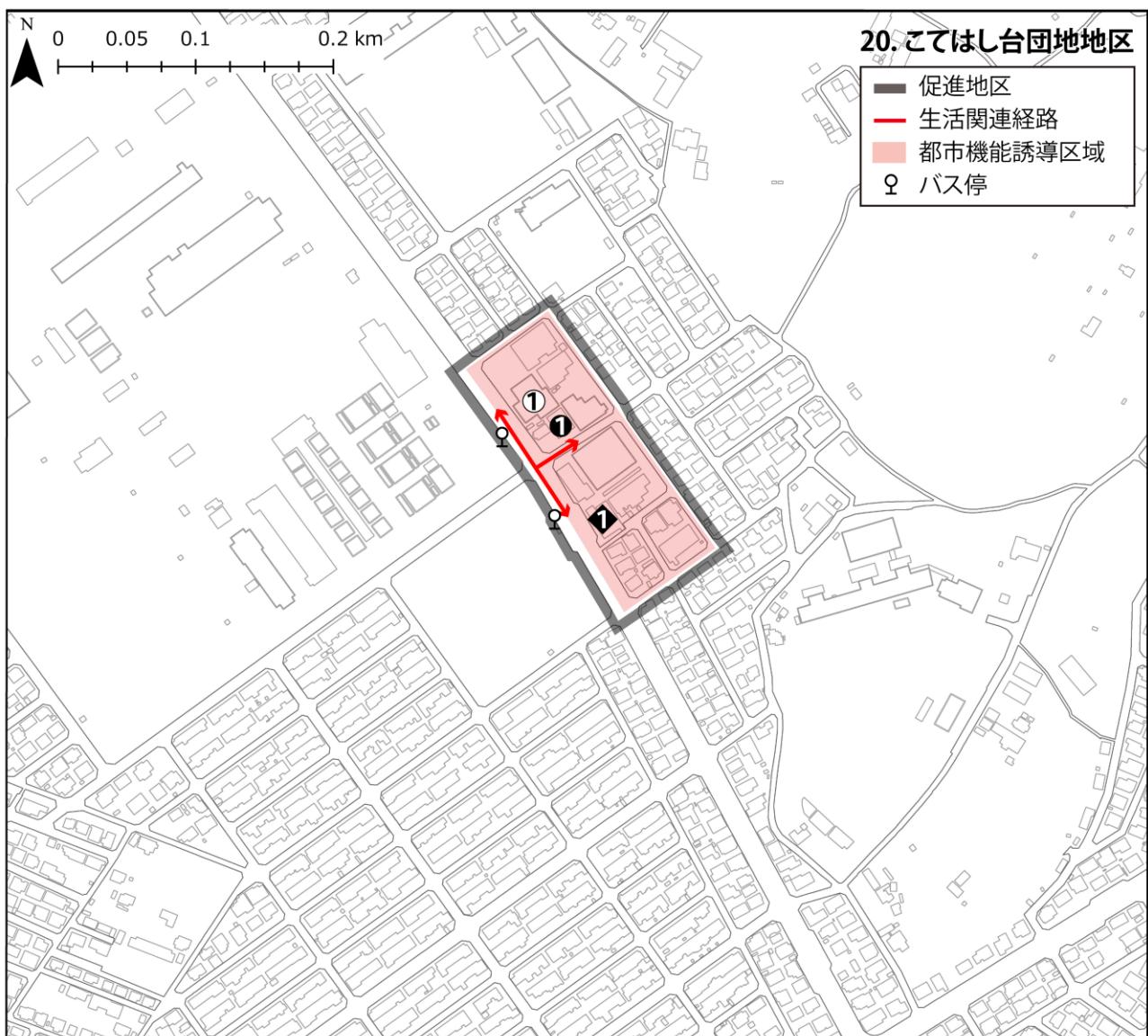
こてはし台団地地区は500m圏人口が促進地区のうちでもJR海浜幕張駅地区に次いで少なく、高齢化率が最も高い地区です。

こてはし第三バス停から概ね100m程度の範囲内に公共施設、福祉施設、文化施設が立地しており、コンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。

バスは八千代市内の京成勝田台駅方面へのアクセスが比較的充実していますが、一部バス停留所においては、休憩施設等の設備が十分でなく、利用環境の向上が必要となっています。また、バス停留所には視覚障害者誘導用ブロックが設置されておらず、停留所から生活関連施設間の経路において移動の連続性の向上が求められます。

■バリアフリー方針

- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
公共施設	①	千葉こてはし台郵便局
福祉施設	◆①	千葉市あんしんケアセンターこてはし台
文化・教養 ・教育施設	①	花見川図書館



千葉こてはし台郵便局



花見川図書館

21 さつきが丘団地地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	連携地域拠点	
面積 (促進地区)	4.8ha	
バス便数	さつきが丘第二	210 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017年)
生活関連施設数	5施設	
生活関連経路延長	約700m	
500m圏人口	6,366人	※さつきが丘第二バス停を中心に 500m 圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	2,095人	
500m圏高齢化率	33%	
従前の基本構想からの主な変更点	都市機能誘導区域が指定されている団地で、さつきが丘市民センター、花見川郵便局、さつきが丘公民館、千葉市あんしんケアセンターさつきが丘、さつきが丘いきいきセンターを含むよう地区設定	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

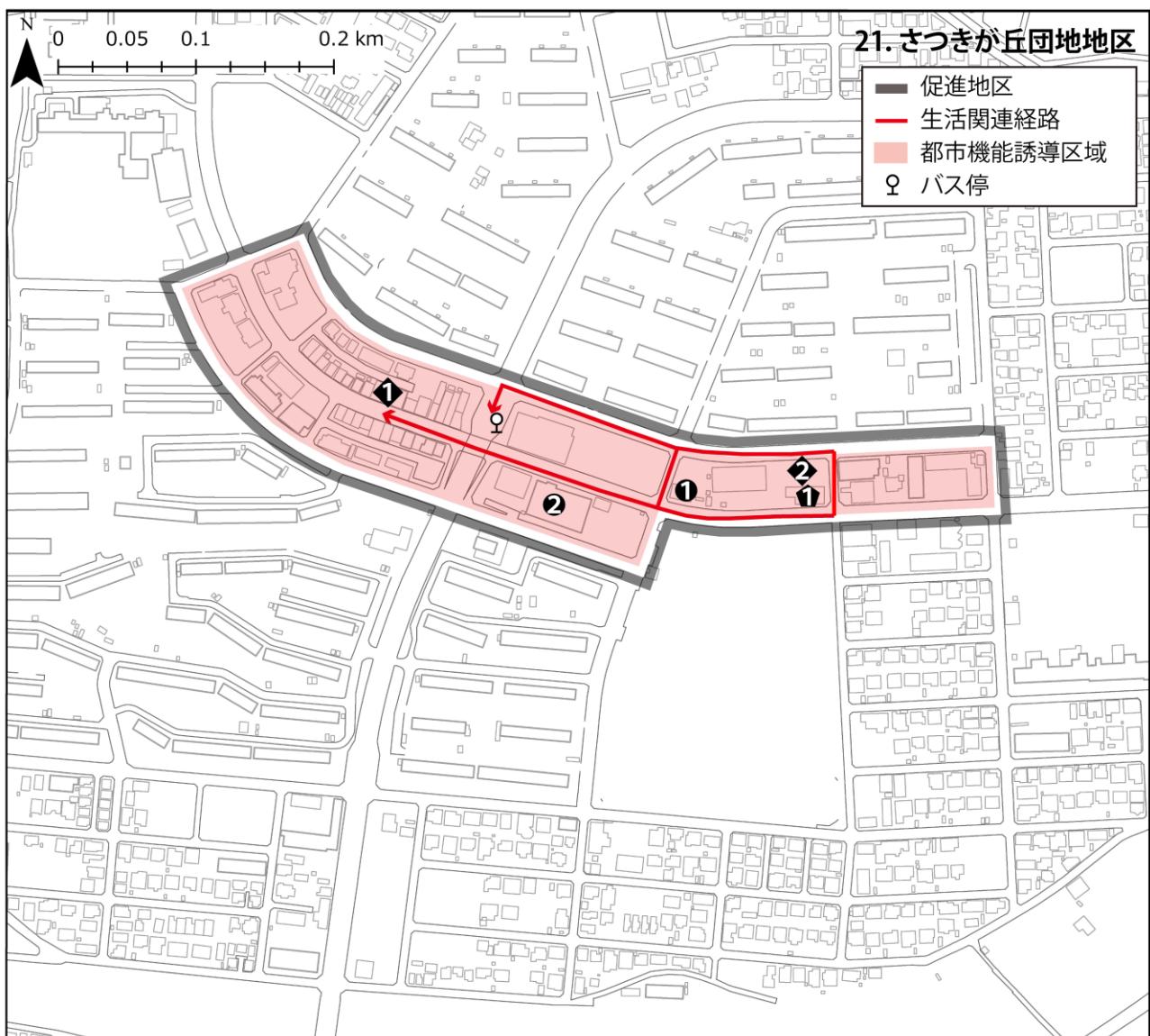
さつきが丘団地地区は 500m 圏人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率の高い地区です。バス停から 200m 程度の範囲内に公共施設や福祉施設が立地しており、東西に細長く都市機能誘導区域が設定されています。

バスは JR 新検見川駅方面のアクセスが充実しています。

バス停留所前面の道路と立体交差する形で歩行者専用道があり、商店街や生活関連施設が面しています。道路との高低差があり、最短経路が階段や坂道となっていることから、施設への安全なバリアフリー経路がわかりにくい箇所が見受けられるため、段差及び勾配の解消や安全な経路への案内誘導が求められます。

■バリアフリー方針

- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
公共施設	①	さつきが丘市民センター
	②	花見川郵便局
集会施設	①	さつきが丘公民館
福祉施設	①	千葉市あんしんケアセンターさつきが丘
	②	さつきが丘いきいきセンター



さつきが丘市民センター



さつきが丘公民館

22 花見川団地地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	連携地域拠点	
面積 (促進地区)	7.6ha	
バス便数	花見川交番	155 (本/日)・片道 (上下線平均) (2017年)
生活関連施設数	4施設	
生活関連経路延長	約570m	
500m圏人口	9,167人	※花見川交番バス停を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	3,728人	
500m圏高齢化率	41%	
従前の基本構想からの主な変更点	都市機能誘導区域が指定されている団地で、花見川市民センター、花見川団地内郵便局、千葉市あんしんケアセンター花見川、花見川図書館花見川団地分館を含むよう地区設定	

※バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

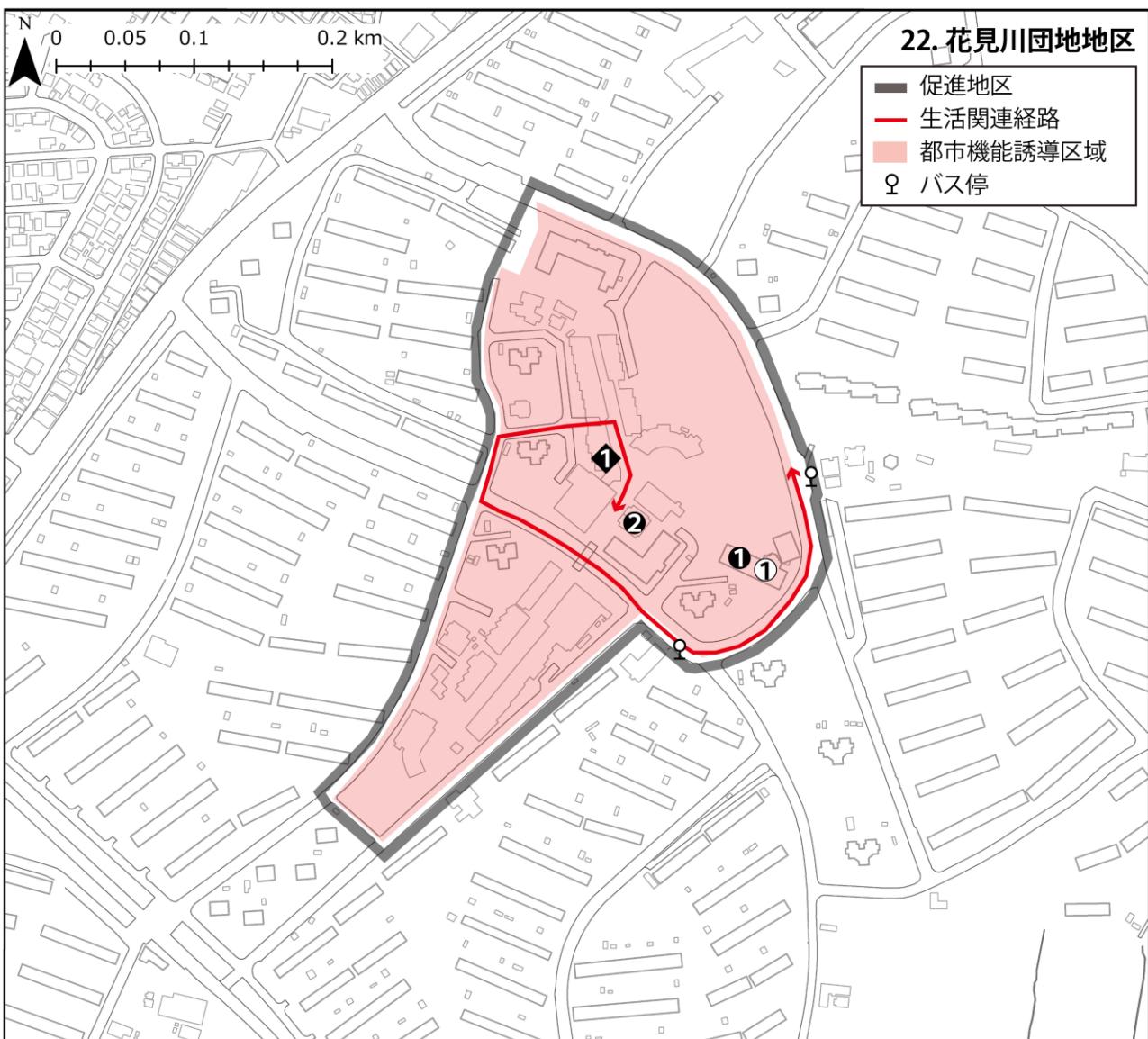
花見川団地地区は500m圏人口が促進地区のうちでも多く、高齢化率の高い地区です。バス停から概ね100mの範囲内に公共施設や福祉施設が立地しています。

バス停留所前面の道路に対して高台に団地を形成しており、生活関連施設の一部も立地しています。道路との高低差があり、最短経路が階段や坂道となっていることから、施設への安全なバリアフリー経路がわかりにくい箇所が見受けられるため、段差及び勾配の解消や安全な経路への案内誘導が求められます。

視覚障害者誘導用ブロックは花見川図書館花見川団地分館付近にのみ設置されており、全体的な新設が必要です。

■バリアフリー方針

- バス停留所の利用環境、及びバス停留所と生活関連施設間の移動の連続性の向上を図ります。



種別	番号	施設名称
公共施設	①	花見川市民センター ※1
	②	花見川団地内郵便局
福祉施設	◆①	千葉市あんしんケアセンター花見川
文化・教養 ・教育施設	①	花見川図書館花見川団地分館 ※1

※は同一建物内



あんしんケアセンター花見川



花見川図書館花見川団地分館
・市民センター

